

# Nikon

デジタルカメラ

# D5500

## 使用説明書



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

ニコンデジタルカメラの説明書をスマートフォンやタブレットで見ることができるアプリです。App Store または Google Play から無料でダウンロードできます。

Jp

お使いになる前に、使用説明書（本書）をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。さらに詳しい説明は、活用ガイドCD-ROMの活用ガイドをご覧ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

### 本文中のマークについて

本書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探るときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

### 表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

### **⚠ 安全上のご注意**

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは□□ix～xvをご覧ください。

## 使用説明書について

このカメラには、2種類の使用説明書が付属しています。

**使用説明書:**基本的な撮影や再生について説明しています (本書)。



**活用ガイド:**カメラのすべての機能について詳細に説明しています (活用ガイドCD-ROM内の [INDEX.pdf] をご覧ください)。



## ViewNX 2について

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有を可能とするソフトウェアです。

- ViewNX 2は、下記のホームページからダウンロードできます。  
<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

## Capture NX-Dについて

Capture NX-Dは、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできるソフトウェアです。

- Capture NX-Dは、下記のホームページからダウンロードできます。  
<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

### ソフトウェアの最新情報、動作環境について

ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページ (□xvi) のサポート情報でご確認ください。

## カメラと付属品を確認する

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。



D5500カメラ本体



Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a  
(端子カバー付)



バッテリーチャージャー MH-24

ストラップAN-DC3

使用説明書 (本書)

USBケーブルUC-E23

活用ガイドCD-ROM

オーディオビデオケーブル  
EG-CP16

(活用ガイド収録)

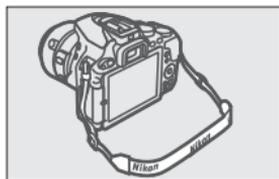
保証書

- レンズキットの場合はレンズも付属しています。
- SDカードは付属していません。このカメラで使えるSDカードについては、[Q105](#)をご覧ください。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。
- 万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

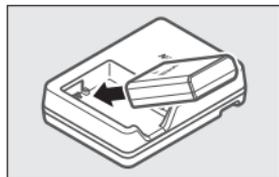
# すぐに撮影する方のために

次の手順で操作すると、すぐに撮影ができます。

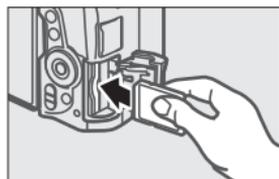
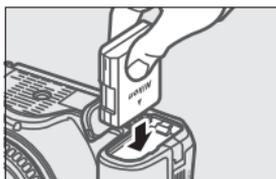
- 1** カメラにストラップを取り付ける  
(2カ所) ( 25)



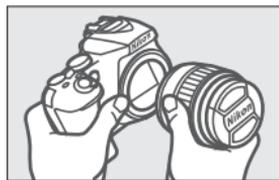
- 2** バッテリーをバッテリーチャージャーで充電する ( 25)



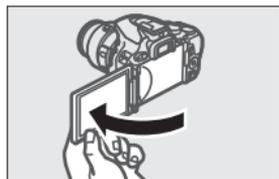
- 3** カメラにバッテリーとSDカードを入れる ( 27)



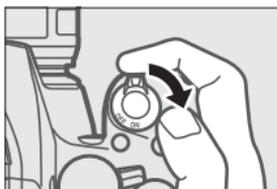
- 4** レンズを取り付ける ( 28)



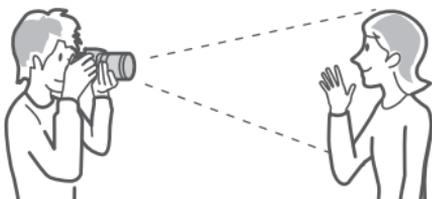
- 5** 液晶モニターを開く ( 7、29)



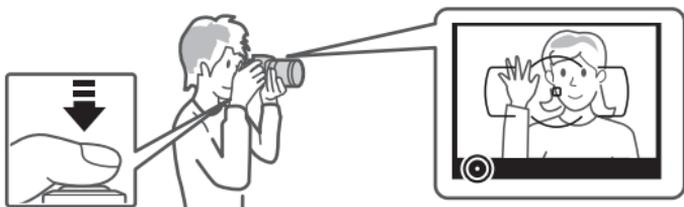
## 6 カメラの電源をONにして日付と時刻を設定する ( 39)



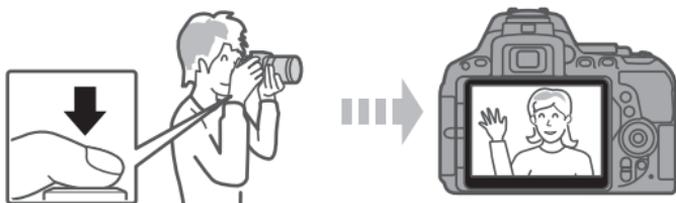
## 7 カメラを構えて構図を決める ( 37)



## 8 シャッターボタンを軽く押して (半押しして)、ピントを合わせる ( 38)



## 9 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで (全押しして)、撮影する ( 39)



# 目次

使用説明書について .....	i
ViewNX 2 について .....	i
Capture NX-D について .....	i
カメラと付属品を確認する .....	ii
すぐに撮影する方のために .....	iii
安全上のご注意 .....	ix
ご確認ください .....	xvi
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について .....	xix

## お使いになる前に **1**

---

各部の名称 .....	1
マルチセレクターの使い方 .....	14
タッチパネルの使い方 .....	15

## 撮影前の準備をする **25**

---

### かんたんに静止画 / 動画を撮影する

#### ( オート / 発光禁止オート) **36**

---

ファインダーをのぞいて静止画を撮影する .....	37
撮影した画像を再生する (1 コマ表示モード) .....	40
画像を削除する .....	42
液晶モニターを見ながら静止画を撮影する (ライブビュー撮影) .....	44
撮影した画像を再生する (1 コマ表示モード) .....	48
画像を削除する .....	49
動画を撮影する .....	50
撮影した動画を再生する .....	54
動画を削除する .....	56

## 被写体や状況に合わせて撮影する

### (シーンモード)

**57**

 (ポートレート).....	58
 (風景).....	58
 (こどもスナップ).....	58
 (スポーツ).....	58
 (クローズアップ).....	58
 (夜景ポートレート).....	59
 (夜景).....	59
 (パーティー).....	59
 (海・雪).....	59
 (夕焼け).....	59
 (トワイライト).....	59
 (ペット).....	60
 (キャンドルライト).....	60
 (桜).....	60
 (紅葉).....	60
 (料理).....	60

## 特殊効果をつけて撮影する

### (スペシャルエフェクトモード)

**61**

 (ナイトビジョン).....	62
<b>VI</b> (極彩色).....	62
<b>POP</b> (ポップ).....	62
 (フォトイラスト).....	62
 (トイカメラ風).....	63
 (ミニチュア効果).....	63
 (セレクトカラー).....	63
 (シルエット).....	63
 (ハイキー).....	64
 (ローキー).....	64

## **P、S、A、M モードで撮影する** **71**

---

P：プログラムオート	72
S：シャッター優先オート	72
A：絞り優先オート	72
M：マニュアル	73
画像の明るさを調整する（露出補正）	75

## **最初の設定に戻す（ツーボタンリセット）** **77**

---

## **Wi-Fi を使う** **80**

---

Wi-Fi を使ってできること	80
カメラとスマートデバイスを接続する	81
WPS プッシュボタン接続でスマートデバイスと 接続する（Android OS のみ）	82
スマートデバイスの PIN コードをカメラに入力して 接続する（Android OS のみ）	83
カメラの SSID をスマートデバイスで選んで接続する （Android OS/iOS）	85

## **メニューの使い方** **88**

---

メニュー項目の一覧	89
-----------	----

## **ViewNX 2** **96**

---

ViewNX 2 をインストールする	96
ViewNX 2 を使う	97
パソコンに画像を取り込む	97

使用できるレンズ.....	99
使用できるアクセサリ .....	101
推奨 SD カード.....	105
カメラのお手入れについて.....	106
保管について.....	106
クリーニングについて.....	106
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意.....	107
カメラの使用上のご注意.....	107
バッテリーの使用上のご注意.....	110
チャージャーの使用上のご注意.....	111
警告メッセージ.....	112
主な仕様.....	118
電池寿命について.....	136
ニコンプラザのご案内.....	138
修理サービスのご案内.....	139

# 安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。表示と意味は、次のようになっています。



**危険**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

## 絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## **警告** (カメラとレンズについて)



### 分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと  
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



### 接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



### すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



### 電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



### すぐに修理依頼を

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。  
電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



### 水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない

感電や発火などの事故や故障の原因になります。



### 使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。



### 使用禁止

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。



### 発光禁止

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと  
事故の原因となります。



### 発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。

撮影時には、1m以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。



### 保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。



### 警告

ストラップが首に巻き付かないようにする

特に幼児・児童の首にストラップをかけない  
首に巻き付くと窒息の原因になります。

## **警告** (カメラとレンズについて)



ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと  
感電の原因となります。  
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



指定の電源（電池、ACアダプター）を使う  
指定以外のものを使用すると、事故や故障の原因になります。

## **注意** (カメラとレンズについて)



ぬれた手でさわらない  
感電の原因になることがあります。



カメラの電源がONの状態、長時間直接接触れないこと  
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



製品は幼児の手の届くところに置かない  
ケガの原因になることがあります。



逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらすこと  
太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。



使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること  
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと  
転倒したりぶついたりして、ケガの原因となる場合があります。



航空機内での使用については、航空会社の指示に従う  
病院内での使用については、病院の指示に従う

## **注意** (カメラとレンズについて)

-  **電池を取る** 長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと  
電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
-  **プラグを抜く** ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
-  **発光禁止** 内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと  
やけどや発火の原因になることがあります。
-  **禁止** 布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと  
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
-  **放置禁止** 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない  
故障や火災の原因になることがあります。
-  **禁止** 付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと  
機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

## **危険** (専用リチウムイオン充電電池について)

-  **禁止** 電池を火に入れたり、加熱しないこと  
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **分解禁止** 電池を分解しない  
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **危険** 電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと  
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  **危険** 専用の充電器を使用すること  
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

## 危険 (専用リチウムイオン充電電池について)



ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしない  
ショートして液もれ、発熱、破裂、発火の原因になりますので、端子カバーをつけて絶縁してください。



**Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aに対応していない機器には使用しないこと**  
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。  
Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aは、D5500に対応しています。



電池からもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること  
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

## 警告 (専用リチウムイオン充電電池について)



電池は、幼児の手の届くところに置かない  
幼児の飲み込みの原因となります。  
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



水につけたり、ぬらさないこと  
液もれ、発熱の原因となります。



変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと  
液もれ、発熱・破裂、発火の原因になります。



充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること  
液もれ、発熱・破裂、発火の原因になります。



電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときにはビニールテープなどで接点部を絶縁すること  
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと  
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

## **注意** (専用リチウムイオン充電機について)



**使用注意**

充電中の電池に長時間直接触れないこと  
充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

## **警告** (チャージャーについて)



**分解禁止**

分解したり修理や改造をしないこと  
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



**接触禁止**

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと  
感電したり、破損部でケガをする原因となります。



**すぐに修理依頼を**

チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



**プラグを抜く**

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜くこと  
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



**すぐに修理依頼を**

チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



**水かけ禁止**

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない  
感電や発火などの事故や故障の原因になります。



**使用禁止**

引火・爆発のおそれのある場所では使わない  
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。



**警告**

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること  
そのまま使用すると火災の原因になります。



**使用禁止**

雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと  
感電の原因となります。  
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



**感電注意**

ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと  
感電の原因になることがあります。

## **警告** (チャージャーについて)



チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。

---

## **注意** (チャージャーについて)



ぬれた手でさわらない

感電の原因になることがあります。

---



通電中のチャージャーに長時間直接接触れないこと

通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

---



製品は幼児の手の届くところに置かない

ケガの原因になることがあります。

---



布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

---

# ご確認ください

## ● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

## ● カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

<https://reg.nikon-image.com/>

## ● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

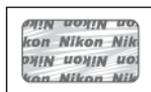
## ● 大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

## ● 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aには、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



## ● 使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の的外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。

- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書および活用ガイドのPDFファイルをダウンロードできます。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

### ● 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

### ● カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

- SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、SDカードがいっぱいになるまで空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。なお、ホワイトバランスのプリセットマニュアル画像も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。
- Wi-Fi接続設定は、セットアップメニュー [Wi-Fi] → [接続設定] → [接続設定のリセット] で工場出荷時の設定にリセットしてください（□86）。

### ● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## ● AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i)AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

### アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリ使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリについての最新情報は、最新のカatalogや当社のホームページなどでご確認ください（□xvi）。

# Wi-Fi (無線LAN) 機能について

## ● 電波に係わるご注意

- 本製品は Wi-Fi (無線 LAN) 機能を搭載しています。国や地域によって、法律により Wi-Fi (無線 LAN) 機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコン カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

## ● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意

**2.4 DS4 / OF4**

### Wi-Fi (無線LAN) 機能 : 2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約 40 m です。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。  
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
  - 本製品の分解/改造
  - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
  - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
    - ① 構内無線局 (免許を要する無線局)
    - ② 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)
  - アマチュア無線局 (免許を要する無線局)

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
  - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。  
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
  - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
  - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

## ● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

## ● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの個人情報漏洩する可能性があります。
  - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上で使用ください。
- セキュリティー設定は、専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」(□80) を使って行うことができます。
- 液晶モニターやスマートデバイスに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しようとししないでください。接続しようとすると、不正アクセスとみなされる恐れがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

## ● 本製品の輸出、持ち出しに係るご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

## ● 個人情報の管理および免責事項

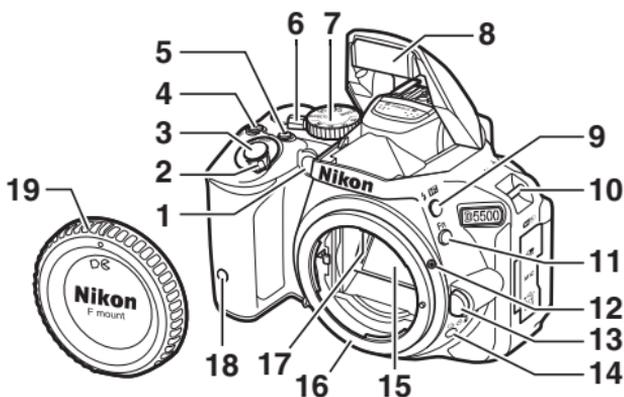
- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線 LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。  
必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。  
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー **[Wi-Fi]** → **[接続設定]** → **[接続設定のリセット]** で工場出荷時の設定にリセットしてください（□86）。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。



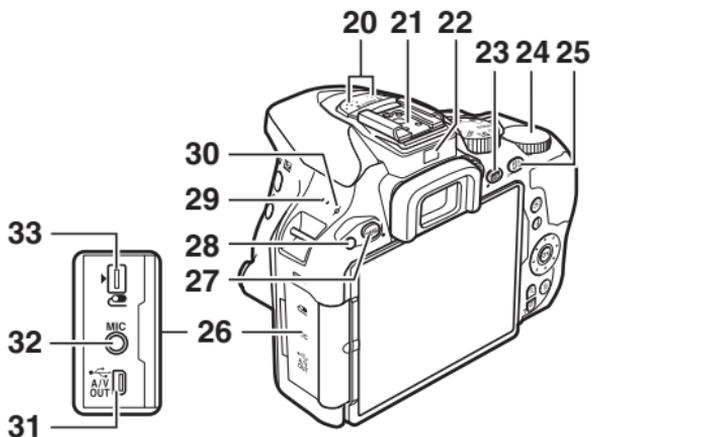
# お使いになる前に

## 各部の名称

### カメラ本体



1	AF補助光ランプ セルフタイマーランプ 赤目軽減ランプ		11	Fn ボタン	
2	電源スイッチ	30	12	レンズ着脱指標	28
3	シャッターボタン	38、39	13	レンズ取り外しボタン	35
4	☒ (☒) ボタン	73、75	14	☺ (☺/ℹ) ボタン	5
5	動画撮影ボタン	51	15	ミラー	
6	ライブビュースイッチ	44、50	16	レンズマウント	28
7	撮影モードダイヤル	4	17	レンズ信号接点	
8	内蔵フラッシュ	43	18	ML-L3用リモコン受光部 (前面)	104
9	☑ (☑) ボタン	60、71	19	ボディーキャップ	
10	ストラップ取り付け部 (吊り金具)	25			



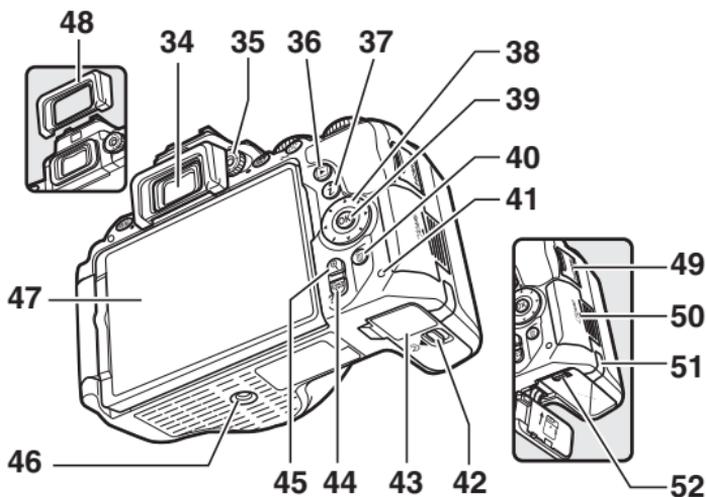
<b>20</b>	マイク (ステレオ)		<b>28</b>	ML-L3用リモコン受光部 (背面).....	104
<b>21</b>	フラッシュ取り付け部 (アクセサリースュー)		<b>29</b>	スピーカー	
<b>22</b>	アイセンサー .....	11	<b>30</b>	⊕ 距離基準マーク	
<b>23</b>	info ボタン.....	9、77	<b>31</b>	USB/オーディオビデオ出力端子	
<b>24</b>	コマンドダイヤル		<b>32</b>	外部マイク入力端子.....	103
<b>25</b>	電源 (ON) ボタン .....	90	<b>33</b>	アクセサリターミナル .....	104
<b>26</b>	端子カバー				
<b>27</b>	MENU ボタン .....	77、88			

#### ✓ 端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となることがあります。

#### ✓ スピーカーについてのご注意

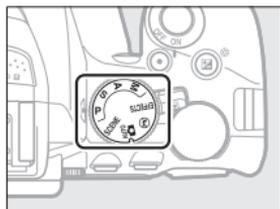
スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れることがあります。スピーカーに磁気製品を近づけないでください。



34	ファインダー接眼窓..... 6、31	44	☑ (?) ボタン ..... 40、41、93
35	視度調節ダイヤル..... 31	45	☑ ボタン ..... 40、41
36	▶ ボタン ..... 40	46	三脚ネジ穴
37	i ボタン ..... 12	47	バリアングル液晶モニター ..... 7、40、44
38	マルチセレクター..... 14、93	48	接眼目当て
39	OK ボタン..... 14、93	49	HDMI端子カバー
40	削除ボタン ..... 42	50	SDカードカバー..... 27
41	SDカードアクセスランプ ..... 33、39	51	パワーコネクターカバー
42	バッテリー室カバー開閉ノブ ..... 27、33	52	バッテリーロック レバー..... 27、33
43	バッテリー室カバー..... 27、33		

## 撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。



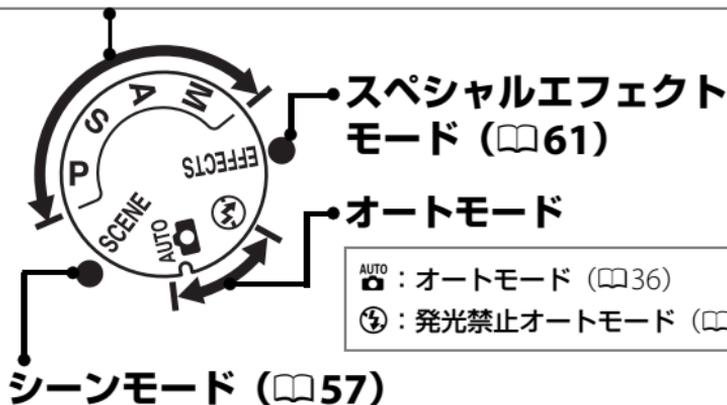
### P、S、A、Mモード

P：プログラムオート (☞72)

A：絞り優先オート (☞72)

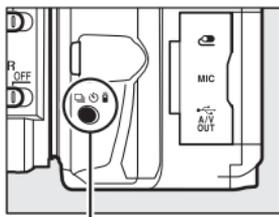
S：シャッター優先オート (☞72)

M：マニュアル (☞73)



## (📷/🔒) (リリースモード) ボタン

 (📷/🔒) ボタンを押すと、シャッターをきる(リリースする)ときの動作(リリースモード)の選択画面が表示されます。マルチセレクターでカーソルを動かし、 ボタンを押して決定します。



 (📷/🔒) ボタン



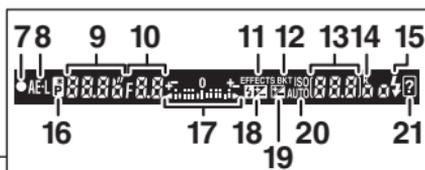
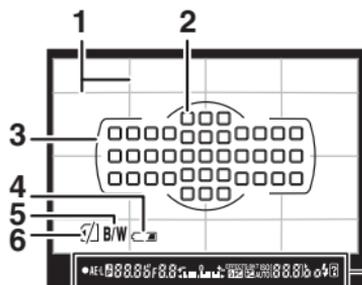
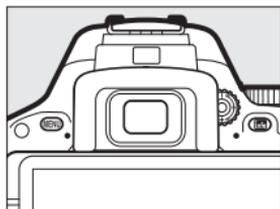
 1コマ撮影	シャッターボタンを全押するたびに1コマずつ撮影できます。
 低速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、低速連続撮影します。
 高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、高速連続撮影します。
 静音撮影	1コマ撮影に比べて静かに撮影できます。
 セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます。シャッターボタンを全押しすると、カウントダウンが始まり、約10秒後にシャッターがきれます。
 2秒リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、2秒後にシャッターがきれます。
 瞬時リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、すぐにシャッターがきれます。

### コマンドダイヤルで変更する

 (📷/🔒) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても、リリースモードを変更できます。 (📷/🔒) ボタンを放すと決定してインフォ画面に戻ります。

# ファインダー

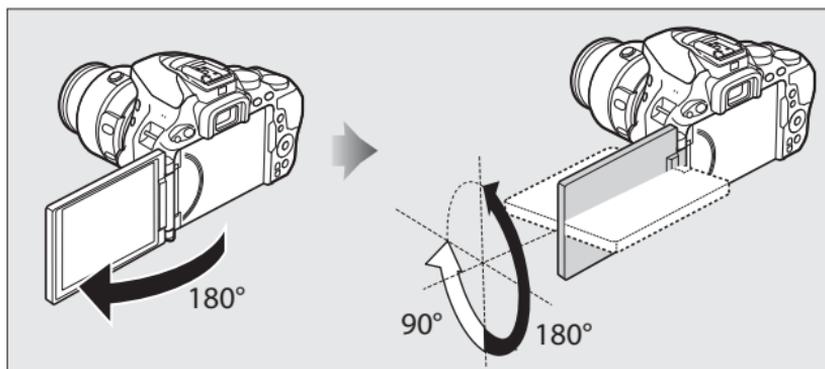
(説明のため、全ての表示を点灯させています)



<b>1</b>	構図用格子線 (カスタムメニュー d3 [ファインダー内格子線表示] を [する] に設定している場合のみ表示されます)	<b>12</b>	オートブラケティングマーク ..... 12
<b>2</b>	フォーカスポイント表示 ..... 38	<b>13</b>	記録可能コマ数 ..... 32 連続撮影可能コマ数 ..... 38
<b>3</b>	AFエリアフレーム ..... 31、38		ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得 モード表示
<b>4</b>	バッテリー警告表示 ..... 32		露出補正值 ..... 75
<b>5</b>	白黒マーク (撮影モードが  の場合、ピクチャーコントロールが [モノクローム] の場合または [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールの場合にのみ表示されます)		フラッシュ調光補正值 ..... 13
	..... 13、62	<b>14</b>	ISO感度 ..... 13
<b>6</b>	カードなしマーク ..... 27	<b>15</b>	PCカメラモード表示
<b>7</b>	ピント表示 ..... 38	<b>16</b>	1000コマ以上補助表示 ..... 32
<b>8</b>	AEロックマーク	<b>17</b>	レディーライト ..... 43
<b>9</b>	シャッタースピード ..... 74	<b>18</b>	プログラムシフトマーク
<b>10</b>	絞り値 ..... 74	<b>19</b>	インジケータ
<b>11</b>	スペシャルエフェクト モード表示 ..... 61	<b>20</b>	露出 ..... 74
		<b>21</b>	露出補正 ..... 75
			フォーカスエイド ..... 90
		<b>18</b>	フラッシュ調光補正マーク ..... 13
		<b>19</b>	露出補正マーク ..... 75
		<b>20</b>	ISO AUTOマーク
		<b>21</b>	警告表示 ..... 112

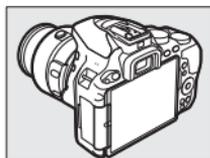
# 液晶モニター

このカメラの液晶モニターは、向きや角度を変えて使えます。



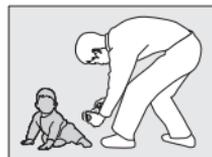
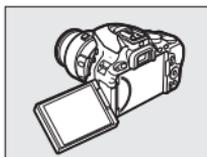
## 通常の撮影

通常の撮影では、モニター画面を外側にしてカメラ本体に収納した状態でお使いください。



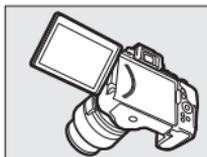
## ローアングル撮影

ライブビュー撮影時にモニター画面を上に向けると、カメラを低い位置に構えて撮影できます。



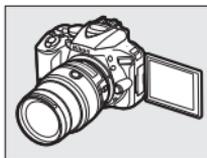
## ハイアングル撮影

ライブビュー撮影時にモニター画面を下に向けると、カメラを高い位置に構えて撮影できます。



## セルフポートレート撮影

- ライブビュー撮影でのセルフポートレートの撮影に便利です。
- 液晶モニターには鏡に映ったような状態（鏡像）で表示されますが、画像はカメラから見た状態（正像）で記録されます。



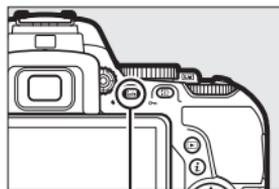
#### ▼ 液晶モニター取り扱い上のご注意

- 液晶モニターを回転させる場合は、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラ本体や液晶モニターの破損の原因となります。
- 液晶モニターを使用しないときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納することをおすすめします。
- 液晶モニター部分をつかんで、カメラを持ち上げたりしないでください。カメラが破損するおそれがあります。

# インフォ画面

(説明のため、全ての表示を点灯させています)

**info** ボタンを押すと、液晶モニターに次のようなインフォ画面が表示されます。



info ボタン



<p><b>1</b> 撮影モード  <b>ⓐ</b> (オート) または <b>Ⓧ</b> (発光禁止            オート) で撮影する ..... 36            シーンに合わせて撮影する ..... 57            特殊効果をつけて撮影する ..... 61            撮影モード <b>P</b>、<b>S</b>、<b>A</b>、<b>M</b> を使う            ..... 71</p> <p><b>2</b> 絞り値 ..... 74            絞りイメージ ..... 74</p> <p><b>3</b> シャッタースピード ..... 74            シャッタースピードイメージ            ..... 74</p> <p><b>4</b> 衛星受信状態マーク</p>	<p><b>5</b> Wi-Fi通信表示 ..... 81            Eye-Fi通信マーク</p> <p><b>6</b> タッチFnの機能 ..... 90</p> <p><b>7</b> ヴィネットコントロール ..... 89</p> <p><b>8</b> 露出デレターモードマーク ..... 90</p> <p><b>9</b> 日付写し込み設定マーク ..... 90</p> <p><b>10</b> 手ブレ補正マーク ..... 35</p> <p><b>11</b> フラッシュ発光方式マーク            スピードライト調光補正マーク</p> <p><b>12</b> バッテリー残量表示 ..... 32</p> <p><b>13</b> ISO感度 ..... 13            ISO感度イメージ            ISO AUTOマーク</p>
--	--



14	オートブラケティングマーク ..... 12	20	1000コマ以上補助表示 ..... 32
15	AEロックマーク	21	<b>i</b> アイコン ..... 18
16	AFエリアモード表示 ..... 13 フォーカスポイント ..... 38	22	インジケーター 露出 ..... 74 露出補正 ..... 75 AEブラケティング WBブラケティング
17	レリーズモード ..... 5	23	ヘルプあり表示 ..... 112
18	ADLブラケティング度合い表示		
19	記録可能コマ数 ..... 32 ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得モード 表示 PCカメラモード表示		

### **液晶モニター（インフォ画面）を消灯するには**

- シャッターボタンを半押しする
- インフォ画面の表示中に、**Fn** ボタンを押す

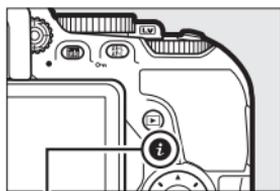
操作を行わないまま約8秒経過したとき（液晶モニターが消灯するまでの時間は、カスタムメニューc2 [パワーオフ時間] (□□90) で変更できます)、ファインダーをのぞくなどしてアイセンサーが反応したときも、インフォ画面は消灯します。

### インフォ画面の自動消灯について

撮影時、半押しタイマーがオンのときにファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応してインフォ画面が自動で消灯します。ファインダーから顔を離すと、インフォ画面が点灯します。セットアップメニューの**【インフォ画面の自動消灯】** (□91) でインフォ画面が自動で消灯しないように変更できます。ただし、**【インフォ画面の自動消灯】** の設定にかかわらず、半押しタイマーが切れるとインフォ画面は消灯します。

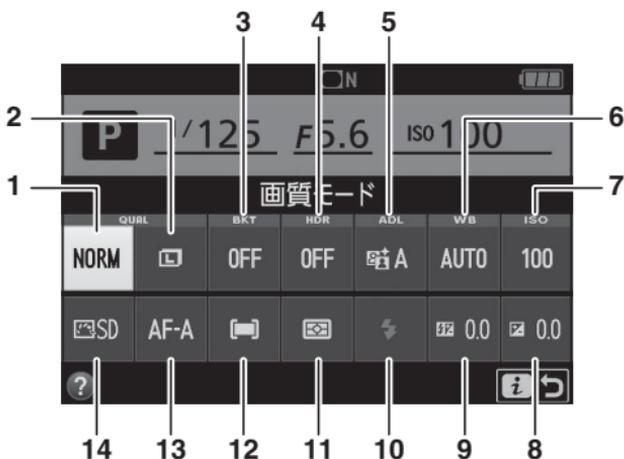
## ■ 撮影時の設定を変更する

ファインダー撮影時に **i** ボタンを押すと、インフォ画面下部に表示されている撮影時の設定を変更できる画面に切り替わります。マルチセレクターでカーソルを動かし、項目を選んで **OK** ボタンを押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。



**i** ボタン

- ライブビュー表示中も **i** ボタンを押して設定の変更ができます。

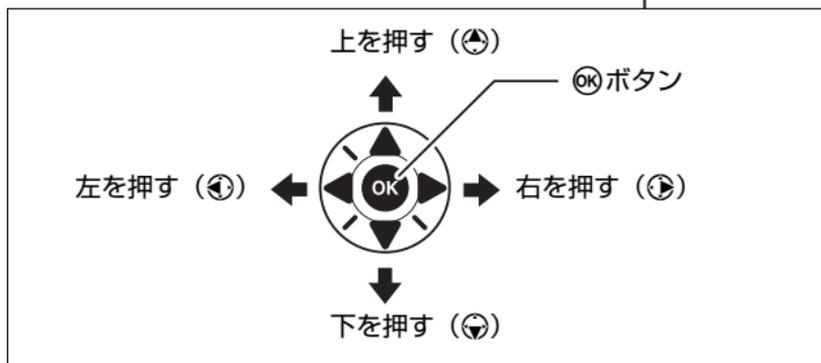
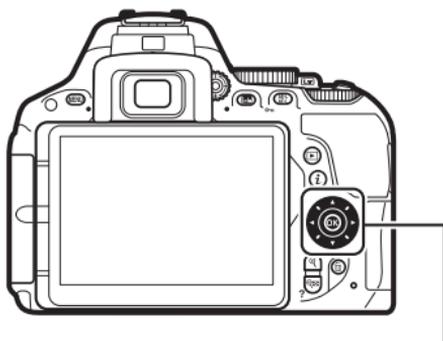


1	画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。
2	画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。
3	オートブラケッティング	明るさ（露出）、ホワイトバランス、またはアクティブD-ライティングの設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。
4	HDR（ハイダイナミックレンジ）	露出が異なる2枚の画像を撮影して合成することにより、シャドウ部からハイライト部まで幅広く再現された画像を記録できます。
5	アクティブD-ライティング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像になります。

6	ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。
7	ISO感度	ISO感度を設定できます。
8	露出補正	画像全体を意図的に明るくしたり、暗くしたりできます。
9	フラッシュ調光補正	フラッシュの発光量を補正できます。
10	フラッシュモード	フラッシュのモードを設定できます。
11	測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。
12	AFエリアモード	オートフォーカスでピントを合わせるフォーカスポイントの選び方を設定できます。
13	フォーカスモード	フォーカスモード(ピントの合わせ方)を選べます。
14	ピクチャーコントロール	記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。

## マルチセレクターの使い方

マルチセレクターは、上下左右を押したり、OK ボタンを押して操作します。この説明書では、マルチセレクターを上下左右に押す動作を     で表しています。



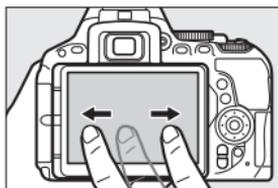
## タッチパネルの使い方

このカメラの液晶モニターはタッチパネルになっており、指で画面にタッチして操作できます。操作方法は次の通りです。



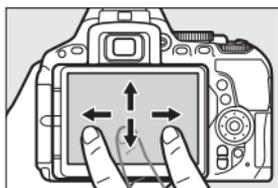
### フリック

タッチパネルを指で上下左右に払う操作です。



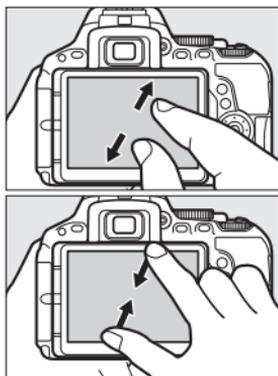
### スライド

タッチパネルに触れたまま指を上下左右に動かす操作です。



### 広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする操作です。



### ✔ タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

### ✔ タッチパネル操作時のご注意

- タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。
- スライド/広げる/つまむ操作時に以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
  - タッチパネルをはじく
  - 指を動かす距離が短すぎる
  - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
  - 指を動かす速度が速すぎる
  - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい

### ✔ タッチ操作の有効/無効について

セットアップメニュー [タッチ操作] (□91) で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。[有効] に設定すると、撮影画面、再生画面およびメニュー画面でタッチ操作ができます。[再生時のみ有効] に設定すると、再生画面でのみタッチ操作ができます。

## 撮影画面でタッチパネルを使う

撮影画面では、液晶モニターに表示されたアイコンにタッチしてカメラの設定を変更したり、ライブビュー表示中に液晶モニターをタッチして撮影したりすることができます。

- タッチでは操作できないアイコンもあります。

### ■ ファインダー撮影時

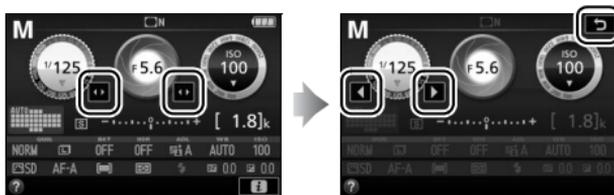
#### 撮影モードを変更する

撮影モードがシーンモード (□57) またはスペシャルエフェクトモード (□61) の場合、撮影モードアイコンをタッチすると、撮影モードの設定画面に切り替わります。◀または▶にタッチすると撮影モードを変更できます。撮影モードのアイコンにタッチすると、決定して前の画面に戻ります。



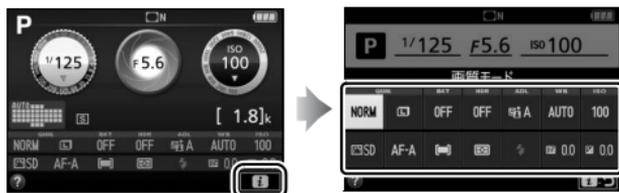
#### シャッタースピードと絞りを変更する

撮影モードがS、A、Mの場合、シャッタースピードイメージまたは絞りイメージの右下に表示される◀▶をタッチすると、画面に◀▶が表示されます。◀または▶にタッチすると値を変更できます。↵にタッチすると前の画面に戻ります。



## 撮影時の設定を変更する

画面右下の **i** にタッチすると、撮影時の設定を変更できる画面 (□12) が表示されます。各項目のアイコンにタッチすると、タッチした項目の設定画面が表示されます。設定したいアイコンにタッチすると、決定して前の画面に戻ります。



- 設定画面に ▲▼ が表示される場合、▲ または ▼ をタッチして数値を変更し、数値または OK にタッチすると、決定して前の画面に戻ります。
- i** にタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。

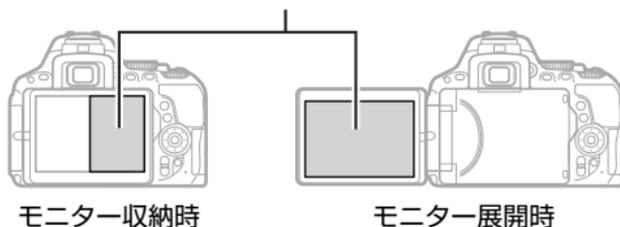


## タッチFnを使う

ファインダーをのぞくなどしてアイセンサーが反応し、液晶モニターが消灯しているときに、モニター画面をタッチまたは左右にスライドしてカメラの設定が変更できます。カスタムメニュー f3 [タッチFnの機能] (□90) で設定する機能を変更できます。

- タッチFnの有効領域は、液晶モニターの状態によって図のように異なります。液晶モニターを反転させてカメラの前方に向けている場合、タッチFnは機能しません。

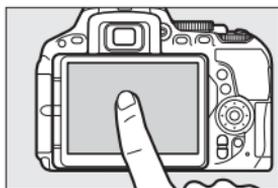
### タッチFn有効領域



## ■ ライブビュー撮影時

### 静止画を撮影する（タッチシャッター）

タッチした位置にピントを合わせ、指を放すとシャッターがきれます。タッチしている間はピントが固定されます。



撮影画面で右図のアイコンにタッチすると、画面をタッチしたときの機能を切り換えられます。



- 動画撮影中は常に  OFF で動作し、タッチした位置にピントが合います。アイコンは表示されません。

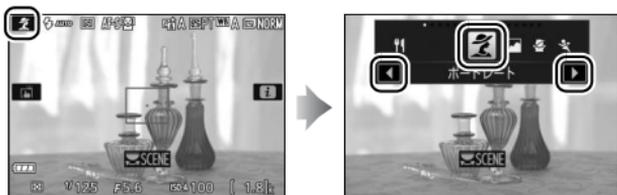
	タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。
	タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>• AFエリアモードがターゲット追尾AFの場合、追尾中に画面をタッチすると、追尾している被写体にピント合わせを行います。</li></ul>

### ✓ タッチ操作で撮影するときの注意

- フォーカスモード (□13) が [MF] (マニュアルフォーカス) の場合は、タッチしてもピント合わせを行いません。
- タッチするとき力を入れすぎると、カメラが動いて画像がブレる（手ブレする）ことがあります。
-  に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- タッチシャッターでは動画撮影中に静止画の撮影はできません。
- レリーズモードを [□L] (低速連続撮影) または [□H] (高速連続撮影) に設定していても、1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー (□5) 設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固定され、指を放してから約10秒後にシャッターがきれます。また、セルフタイマーの撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、連続で撮影します。セルフタイマーの作動時間と撮影コマ数は、カスタムメニュー c3 [セルフタイマー] で変更できます (□90)。

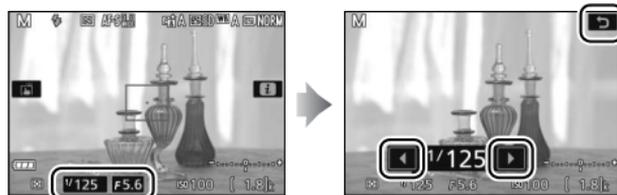
## 撮影モードを変更する

撮影モードがシーンモード (□57) またはスペシャルエフェクトモード (□61) の場合、撮影モードアイコンをタッチすると、撮影モードの設定画面に切り替わります。◀または▶にタッチすると撮影モードを変更できます。撮影モードのアイコンにタッチすると決定して前の画面に戻ります。



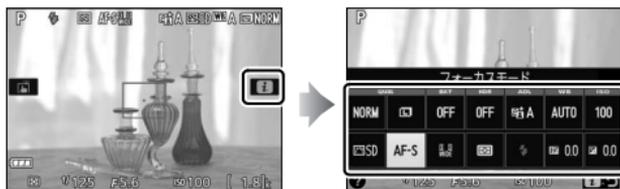
## シャッタースピードと絞りを変更する

撮影モードがS、A、Mの場合、シャッタースピードまたは絞りのアイコンをタッチすると、画面に◀▶が表示されます。◀または▶にタッチすると値を変更できます。↶にタッチすると前の画面に戻ります。



## 撮影時の設定を変更する

ライブビュー表示中に **i** ボタンを押すか画面の **i** をタッチすると、インフォ画面が表示されます。各項目のアイコンにタッチすると、タッチした項目の設定画面が表示されます。設定したいアイコンにタッチすると、決定して前の画面に戻ります。



- 設定画面に ▲▼ が表示される場合、▲または▼をタッチして数値を変更し、数値またはOKにタッチすると決定して前の画面に戻ります。
- **i**・↶にタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。

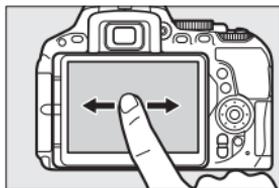


## 再生画面で使う

再生画面 (□40) では次の操作ができます。

### 前後の画像を表示する

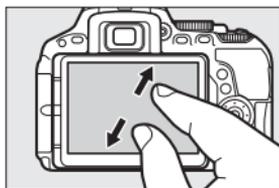
左右にフリックすると、前後の画像を表示します。



### 拡大表示する (静止画のみ)

1コマ表示中に広げる操作をすると、拡大表示します。

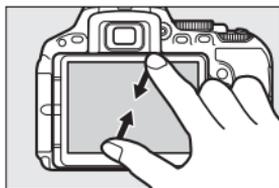
- さらに広げる操作をすると、拡大率が上がります。
- つまむ操作をすると、拡大率が下がります。
- 画面をスライドすると表示範囲を移動します。



### サムネイル表示する

1コマ表示中につまむ操作をすると、サムネイル表示します。

- 広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数 (4コマ/12コマ/80コマ) が切り替わります。



## 動画を再生する

▶が表示されている画像で、操作ガイドにタッチすると再生します。

- 再生中に画面をタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生を再開します。
- 再生中に⏮にタッチすると、再生を終了して1コマ表示モードに戻ります。
- タッチでは操作できない操作ガイドもあります。



操作ガイド

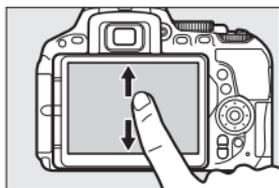


## メニュー画面で使う

メニュー画面 (☐88) では次の操作ができます。

### メニューをスクロールする

上下にスライドすると、メニュー画面をスクロールします。



### メニューを切り換える

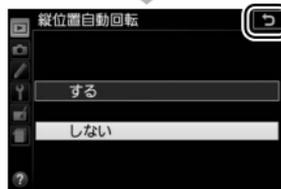
画面左端のアイコンにタッチすると、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。



### メニュー項目を選ぶ/設定する

メニュー項目にタッチして選択します。

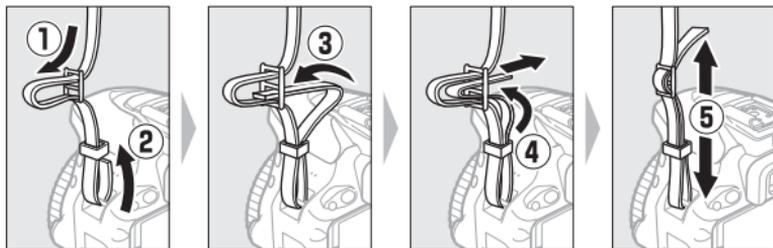
- アイコンやスライダーにタッチして項目や数値を選びます。
- **i**にタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。



# 撮影前の準備をする

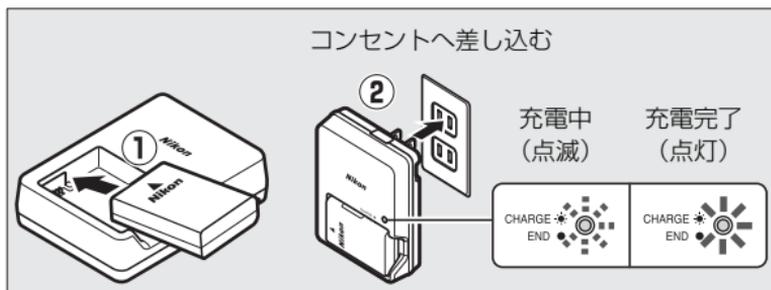
次の1～8の手順で撮影前の準備を行ってください。

## 1 カメラにストラップを取り付ける (2カ所)



## 2 バッテリーをバッテリーチャージャーで充電する

- フル充電するには約1時間50分かかります (残量の少ないバッテリーの場合)。



### ✓ バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

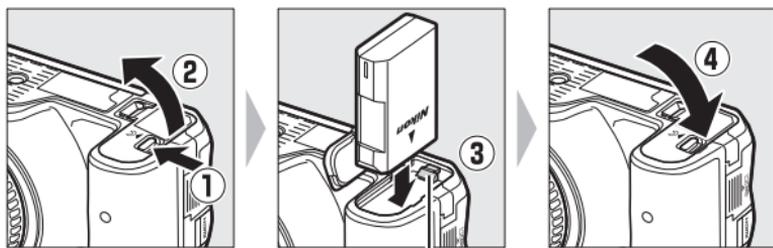
お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□ix～xv)、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」(□107～111)をお読みになり、記載事項をお守りください。

**▼** チャージャーの「CHARGE」ランプが速く（1秒間に8回）点滅する場合

- **バッテリーのセットミス**：チャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- **指定温度外での使用**：チャージャーを指定温度範囲内（0℃～40℃）でお使いください。
- さらに不具合が続く場合は、ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店または二コンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

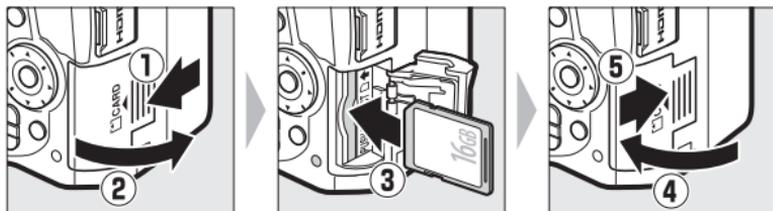
### 3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる

- バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- バッテリーとSDカードは、図のように正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。



バッテリーロックレバー

- SDカードは、カチッと音がするまで挿入してください。

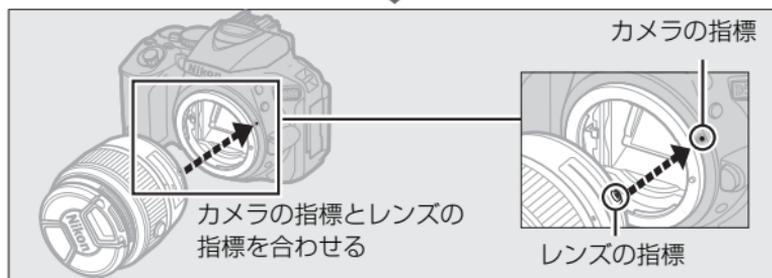


#### 🔪 時計用電池について

カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶モニターに「日時未設定」と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

## 4 レンズを取り付ける

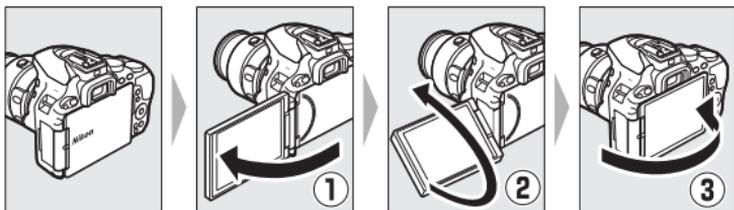
- ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。



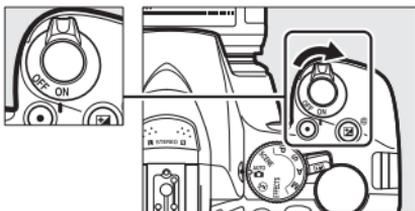
- 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

## 5 液晶モニターを開く

- 液晶モニターは、無理な力を加えずにゆっくりと回してください。



## 6 カメラの電源をONにする



## 7 日付と時刻を設定する

- ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません。
- マルチセレクターの $\blacktriangle$ または $\blacktriangledown$ を押して、選択中の項目の数値を合わせ、 $\blacktriangleleft$ または $\blacktriangleright$ で項目を移動します。
- 日付と時刻の設定を完了したら、OK ボタンを押します。



## 電源スイッチ

電源スイッチを矢印の方向に回して「ON」のマークを指標に合わせると、カメラの電源がONになります。

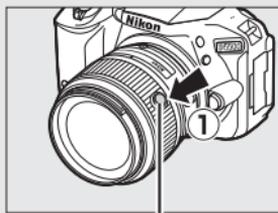


電源スイッチを矢印の方向に回して「OFF」のマークを指標に合わせると、カメラの電源がOFFになります。



## ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

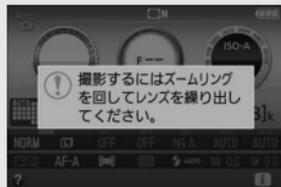
ズームリングボタンを押しながら ①、ズームリングを矢印の方向に回してください ②。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。



ズームリングボタン

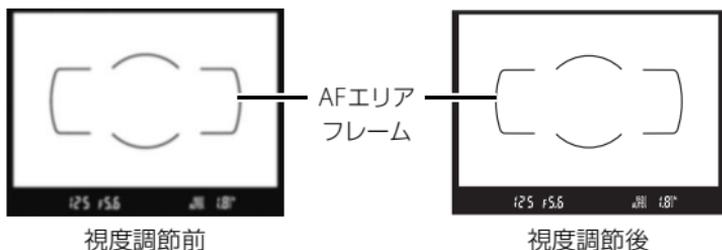
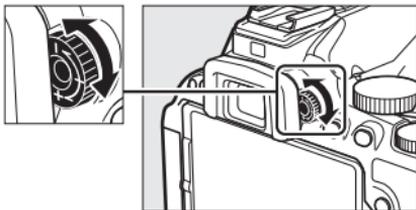


- レンズを収納した状態では撮影できません。レンズを繰り出さずに電源をONにして警告メッセージが表示された場合、撮影できる位置までズームリングを回すと、警告メッセージが消えます。



## 8 ファインダーを見やすくする

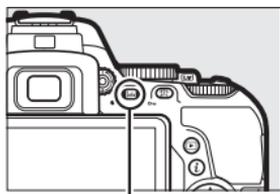
- ファインダーで構図を決めながら撮影する場合は、あらかじめ、ファインダー内がはっきり見えるように視度調節ダイヤルを回して調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
- レンズキャップを取り外し、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、AFエリアフレームが最もはっきり見えるように調節してください。



撮影前の準備が完了しました。すぐに撮影する場合は、□36へ進みます。

## ■ バッテリー残量と記録可能コマ数

**info** ボタンを押すと、バッテリーの残量とSDカードの記録可能コマ数（これから撮影できる枚数）をインフォ画面（9）で確認できます。



**info** ボタン

バッテリー残量



記録可能コマ数

### バッテリー残量について

液晶モニター	ファインダー	意味
	—	残量は充分に残っています。
	—	残量が減り始めました。
		残量は残りわずかです。
 (点滅)	 (点滅)	残量がなくなりました。バッテリーを充電してください。

- バッテリー残量が少なくなると、ファインダーにバッテリー警告が表示されます。
- **info** ボタンを押してもインフォ画面が表示されない場合、バッテリー残量がありません。

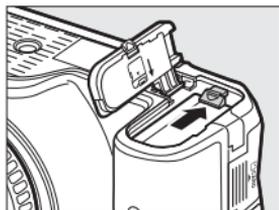
### 記録可能コマ数について

記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。

## ■■ バッテリーとSDカードの取り出し方

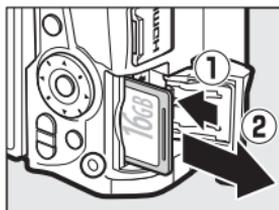
### バッテリーを取り出すには

電源をOFFにしてから、バッテリー室カバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



### SDカードを取り出すには

SDカードカバーを開ける前に、SDカードアクセスランプの消灯を確認して、電源をOFFにしてください。SDカードカバーを開けて、SDカードを奥に押し込むと (①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください (②)。



## ✔ SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
  - SDカードの着脱をしないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

## ✍ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

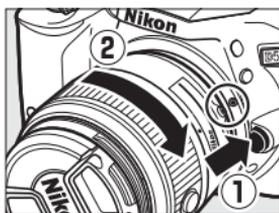
- SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。
- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとすると、警告音が鳴り、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。



## ■ レンズの取り外し方

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら (①)、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し (②)、引き抜いてください。

- レンズを取り外した後は、カメラのボディークャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。



### 🔍 レンズのフォーカスモードについて

レンズのフォーカスモードが切り換えられる場合は、オートフォーカス (A、M/A、またはA/M) に設定してください (使用できるレンズについては、□99をご覧ください)。



### 🔍 手ブレ補正機能について

手ブレ補正機能がONのときは、インフォ画面に手ブレ補正マークが表示されます。

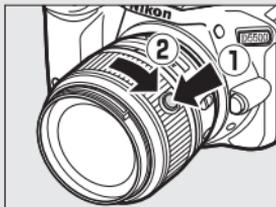
- 撮影メニュー [光学手ブレ補正] に対応したレンズの装着時には、[光学手ブレ補正] を [する] に設定すると、手ブレ補正機能がONになります。
- レンズに手ブレ補正スイッチがある場合は、手ブレ補正スイッチをONにすると、手ブレ補正機能がONになります。



### 🔍 ズームリングボタンの付いたレンズの収納方法

- カメラを使わないときは、レンズを収納してコンパクトにすることができます。レンズを収納するには、ズームリングボタンを押しながら (①)、ズームリングを矢印の方向に回してください (②)。ズームリング上の指標を「L」(ロック) の位置に合わせると、ズームリングがロックされてレンズが収納されます。

- レンズの着脱時にズームリングボタンを押さないようご注意ください。
- レンズを取り外す前にレンズを収納してください。



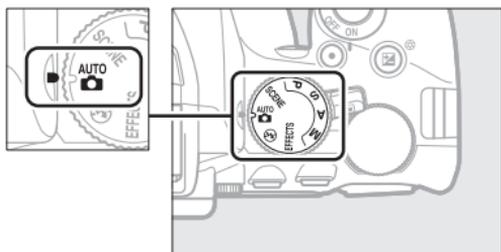
# かんたんに静止画/動画を撮影する (AUTOオート/⚡発光禁止オート)

撮影モード  (オート) と  (発光禁止オート) を使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影と動画撮影を楽しむことができます。AUTOの場合、必要に応じてフラッシュが光ります。フラッシュを光らせずに撮影したいときは、 で撮影してください。



カメラの電源をONにして、カメラ上面の撮影モードダイヤルを  または  に合わせます。

撮影モードダイヤル

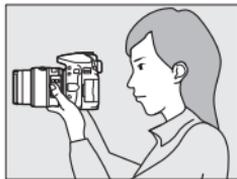


## ファインダーをのぞいて撮影する (ファインダー撮影)



- 静止画を撮影するには □ 37  
 • 再生するには □ 40  
 • 削除するには □ 42

## 液晶モニターを見ながら撮影する (ライブビュー撮影)



- 静止画を撮影するには □ 44  
 • 再生するには □ 48  
 • 削除するには □ 49



- 動画を撮影するには □ 50  
 • 再生するには □ 54  
 • 削除するには □ 56

# ファインダーをのぞいて静止画を撮影する

## 1 カメラを構える

- 脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。



- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。



### ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側（焦点距離目盛の大きい数値側）に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側（焦点距離目盛の小さい数値側）に回してください。

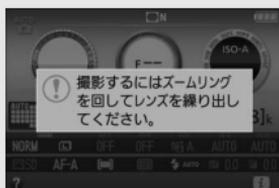
- 撮影するときは、ズーミングして構図を決めてからピント合わせを行ってください。

- ズームリングボタンの付いたレンズの場合（□30）は、ズームリングボタンを押しながら、右図の警告メッセージが表示されなくなるまでズームリングを回してロックを解除してから、ズーム操作を行ってください。

望遠側



広角側



## 2 構図を決める

- ファインダーをのぞいて、構図を決めてください。
- 被写体をAFエリアフレーム内に配置します。



AFエリアフレーム

## 3 シャッターボタンを軽く

押し（半押しして）、  
ピントを合わせる

- 暗い場所などでは、AF補助光が光ったり内蔵フラッシュが上がる場合があります。
- ピントが合うと、ピピッと  
いう電子音が鳴り、ファインダー内のピント表示（●）が点灯します（被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります）。



フォーカスポイント



ピント表示

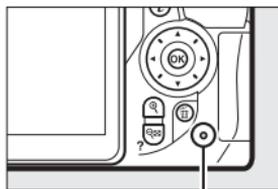
連続撮影  
可能コマ数

ファインダー内ピント表示	意味
●（点灯）	被写体にピントが合っています。
●（点滅）	オートフォーカスでのピント合わせができません（□114）。

- ピントが合った位置には、フォーカスポイントが表示されます。

## 4 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。
- 撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。



SDカードアクセスランプ



### シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。まず、シャッターボタンを軽く抵抗を感じるのところまで押し、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込む（これを「シャッターボタンを全押しする」といいます）と、シャッターがきれます。



半押しして  
ピントを合わせる

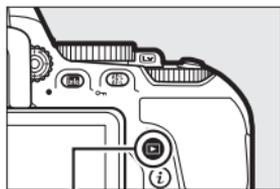


全押しして  
撮影する

- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。

## 撮影した画像を再生する（1コマ表示モード）

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。



▶ ボタン

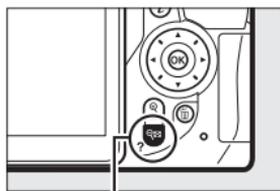


- マルチセレクターの ◀ または ▶ を押すと、他の画像を表示できます。

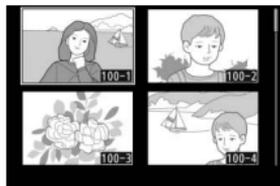


## ■ 複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

- 1コマ表示モードで Q (?) ボタンを押すと、ボタンを押すたびに4コマ表示、12コマ表示、80コマ表示の順に切り換えられます。
- Q ボタンを押すと、表示コマ数が少なくなります。
- マルチセレクターまたはコマンドダイヤルで画像を選び、OK ボタンを押すと1コマ表示モードで画像を表示します。



Q (?) ボタン



## ■■ 撮影した日付ごとに画像を表示する（カレンダー表示モード）

- 80コマ表示時に🔍(?) ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。
- マルチセクターで「カレンダー表示」上の日付を選んで、🔍(?) ボタンを押すと、指定した日付に撮影した画像を選べます。
- 「カレンダー表示」上の日付を選んで🔍(?) ボタンを押すと、80コマ表示のサムネイル表示に切り替わります。

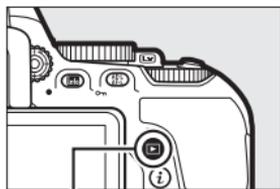


撮影日サムネイル表示

# 画像を削除する

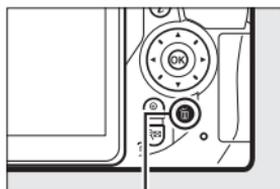
表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのをご注意ください。

## 1 削除したい画像を表示する



▶ボタン

## 2 畚ボタンを押す

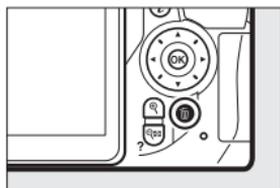


畚ボタン



## 3 もう一度畚ボタンを押す

- 表示中の画像が削除されます。



## 🔪 ファインダー撮影時の半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消費を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになります。何も操作が行われなまま約8秒経過すると半押しタイマーがオフになり、ファインダー内表示が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニューc2 [パワーオフ時間] (□90) で変更できます。



半押しタイマーオフ



125 f5.6 1/180

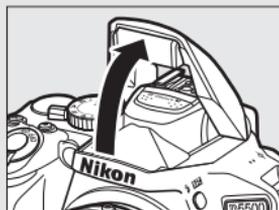
半押しタイマーオン

## 🔪 内蔵フラッシュについて

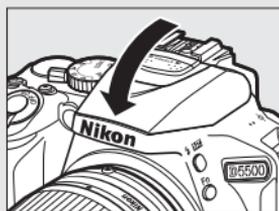
撮影モード📷では、シャッターボタンを半押しすると必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がります。

- ファインダー内に🔦 (レディーライト) が点灯しているとき：シャッターボタンを全押しすると、内蔵フラッシュが発光します。
- 内蔵フラッシュが上がっている状態で🔦 が点灯していないとき：フラッシュが充電中のため、撮影できません。

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。フラッシュを使わないときは常に収納してください。



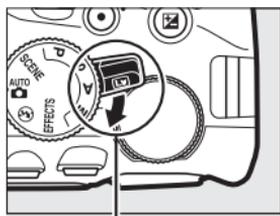
125 f5.6 1/180



# 液晶モニターを見ながら静止画を撮影する（ライブビュー撮影）

## 1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

## 2 カメラを構える

- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。

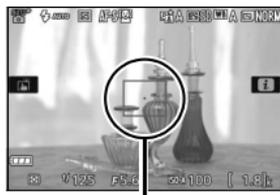


- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。



### 3 シャッターボタンを軽く 押して（半押しして）、 ピントを合わせる

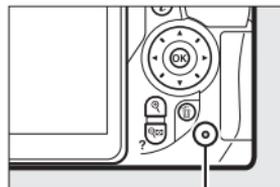
- フォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は緑色で点滅し、ピントが合うと緑色で点灯します。ピントが合わないと赤色で点滅します。



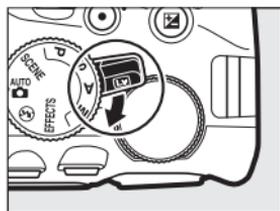
フォーカスポイント

### 4 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

- 撮影時は液晶モニターが消灯します。
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。
- 撮影後は、撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。



SDカードアクセスランプ



## おまかせシーン

撮影モードダイヤルが $\text{A}$ または $\text{A}$ のときにライブビューに切り換えると、オートフォーカスに設定している状態では、「おまかせシーン」になります。

- おまかせシーンでは、カメラが撮影シーンや被写体に合わせて最適な撮影モードを決定します。
- 液晶モニターの上に、カメラが選んだ撮影モードのアイコンが表示されます。



	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や街並みを認識した場合
	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	オート	上記のシーンを認識しなかった場合
	発光禁止オート	$\text{A}$ または $\text{A}$ に適したシーンの場合

## ライブビュー撮影時のご注意

- ライブビュー表示中は、液晶モニターの表示に次のような現象が発生することがありますが、実際に記録される画像に影響はありません。
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
  - 輝点が発生する
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー表示中に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、セットアップメニューの【フリッカー低減】(□91)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。
- 液晶モニターを閉じると(テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニターでの表示中は除く)、ライブビュー撮影を終了します。
- ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

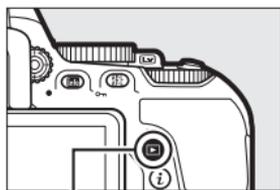
### **ライブビュー残り時間のカウントダウンについて**

自動的にライブビューを終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します。

- カスタムメニュー c2 [パワーオフ時間] (□90) の設定により終了する場合は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。
- カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

## 撮影した画像を再生する（1コマ表示モード）

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。



▶ ボタン



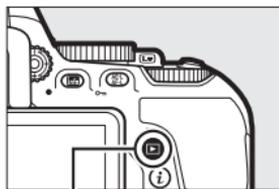
- マルチセレクターの ◀ または ▶ を押すと、他の画像を表示できます。



# 画像を削除する

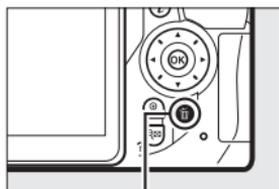
表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのご注意ください。

## 1 削除したい画像を表示する



▶ボタン

## 2 削除ボタンを押す

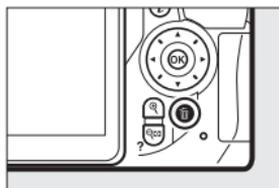


🗑️ボタン



## 3 もう一度🗑️ボタンを押す

- 表示中の画像が削除されます。

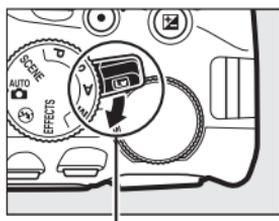


# 動画を撮影する

ライブビューにすると動画を撮影できます。

## 1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

## 2 カメラを構える

- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。

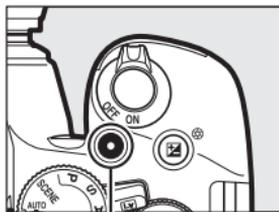


## 3 シャッターボタンを軽く 押して（半押しして）、 ピントを合わせる



フォーカスポイント

## 4 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める



動画撮影ボタン

- 録画中は録画中マークが液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も液晶モニターで確認できます。

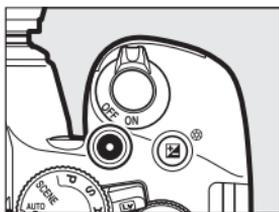
残り時間



録画中マーク

## 5 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。

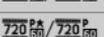
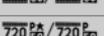
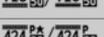
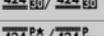


### 動画撮影について

- 使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります。
- 動画撮影時は、内蔵フラッシュと別売のスピードライトは発光しません。
-  (動画記録禁止) マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

## 📝 最長記録時間

1回の撮影で記録できる動画の最長記録時間は、撮影メニュー【動画の設定】の【画像サイズ/フレームレート】と【動画の画質】の組み合わせによって異なります。

	画像サイズ/フレームレート		最長記録時間 （【動画の画質】※3の設定： ★高画質/標準）※4
	解像度 （ピクセル）	フレーム レート※1,2	
	1920×1080	60p	10分/20分
	1920×1080	50p	
	1920×1080	30p	20分/29分59秒
	1920×1080	25p	
	1920×1080	24p	
	1280×720	60p	
	1280×720	50p	
	640×424	30p	29分59秒/29分59秒
	640×424	25p	

※1 60p：59.94コマ/秒（fps）、50p：50コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

※2 60p/30pは、セットアップメニューの【ビデオ出力】（□91）が【NTSC】の場合に選べます。50p/25pは、【ビデオ出力】が【PAL】の場合に選べます。

※3 【動画の画質】が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。

※4 📷の場合、最長記録時間は3分です。

## 📝 ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

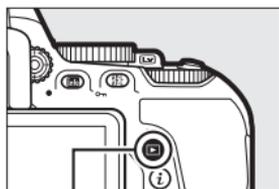
- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まる場合があります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの右上に表示されている動画残り記録時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

## ▼ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
  - 最長記録時間に達した場合（□□52）
  - SDカードの残量がなくなった場合
  - 撮影モードダイヤルを回した場合
  - 液晶モニターを閉じた場合（テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニターでの表示中は除く）
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- マイク（□□2）を指などでふさがないようにしてください。音声記録できない場合があります。
- 次の場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
  - オートフォーカス作動中
  - VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）をONにした場合

## 撮影した動画を再生する

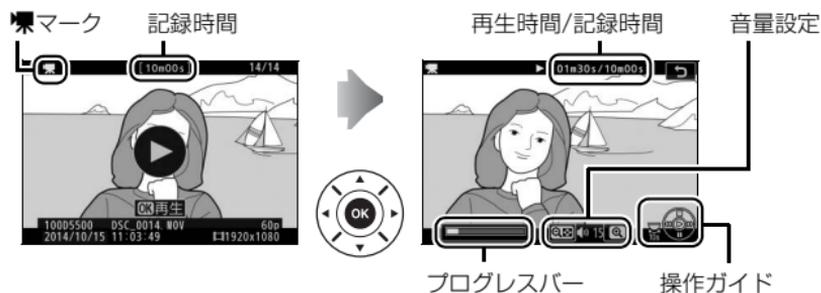
▶ボタンを押して、📌マークが表示されている画像を表示します（1コマ表示モード）。



▶ボタン



⊙ボタンを押して動画を再生します（プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます）。



## ■■ 動画再生時の操作方法

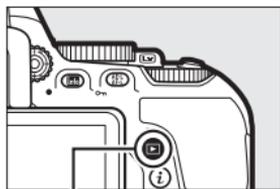
一時停止する		マルチセレクターの  を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/早戻し中に  ボタンを押すと、動画再生を再開します。
早戻しする/ 早送りする		<ul style="list-style-type: none"> <li>再生中に  を押すと早戻し、 を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。</li> <li> を押し続けると、最初のコマに移動し、 を押し続けると、最後のコマに移動します。</li> <li>先頭フレームには  アイコンが、最終フレームには  アイコンが、画面右上に表示されます。</li> </ul>
コマ戻しする/ コマ送りする		<ul style="list-style-type: none"> <li>一時停止中に  または  を押すと、コマ戻し/コマ送りします。</li> <li> または  を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。</li> </ul>
10秒進める/ 10秒戻す		コマンドダイヤルを1クリック回すと、10秒前または後ろに移動します。
音量を調節する	 /  (?)	 ボタンを押すと音量が大きくなり、  (?) ボタンを押すと小さくなります。
再生を終了する	 / 	 ボタンまたは  を押すと、1コマ表示モードに戻ります。

# 動画を削除する

表示中の動画を削除します。削除した動画は元には戻せないのをご注意ください。

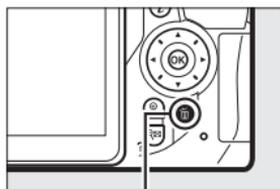
## 1 削除したい動画を表示する

- 削除マークが表示されている画像が動画です。



▶ボタン

## 2 削除ボタンを押す

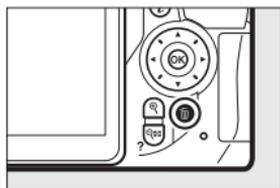


削除ボタン



## 3 もう一度削除ボタンを押す

- 表示中の動画が削除されます。

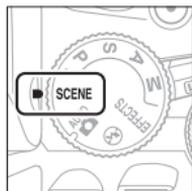


# 被写体や状況に合わせて撮影する (シーンモード)

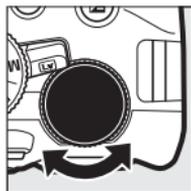
撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、美しく撮影できます。

## ■ シーンモードの設定方法

撮影モードダイヤルを**SCENE**に合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定を変更します。



撮影モード  
ダイヤル



コマンドダイヤル



液晶モニター

- 次のシーンモードから設定できます。

 ポートレート	 海・雪
 風景	 夕焼け
 こどもスナップ	 トワイライト
 スポーツ	 ペット
 クローズアップ	 キャンドルライト
 夜景ポートレート	 桜
 夜景	 紅葉
 パーティー	 料理

## ■ 各シーンモードの特徴

---

### (ポートレート)

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- 被写体と背景が離れているときや、望遠レンズを使って撮影したときは、背景がぼけて立体感のある画像になります。
- 

### (風景)

自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

#### ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。

---

### (こどもスナップ)

子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表現すると同時に、服装や背景も鮮やかに仕上げます。

---

### (スポーツ)

運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げます。

#### ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。

---

### (クローズアップ)

草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。

- マイクロレンズを使用すると、より被写体に近づいて撮影することができます。
-



## （夜景ポートレート）

夕景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

---



## （夜景）

夜景の撮影に適しています。ノイズや不自然な発色を抑え、外灯やネオンなどの光を鮮やかにして夜景の雰囲気表現します。

### ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。

---



## （パーティー）

パーティーなどでの撮影に適しています。パーティー会場の光の雰囲気も表現します。

---



## （海・雪）

晴天の海や湖、砂浜、雪景色などの撮影に適しています。

### ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。

---



## （夕焼け）

夕焼けや朝焼けの撮影に適しています。

### ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。

---



## （トワイライト）

夜明け前や日没後の風景の撮影に適しています。わずかな自然光での風景をきれいに表現します。

### ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。

---

---

## (ペット)

動き回るペットなどの撮影に適しています。

### ご注意

AF補助光は照射しません。

---

## (キャンドルライト)

キャンドルライトでの撮影に適しています。

### ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

---

## (桜)

桜、花畑などの花がたくさん咲いている風景の撮影に適しています。

### ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

---

## (紅葉)

紅葉の撮影に適しています。紅葉の赤色や黄色を鮮やかに表現します。

### ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

---

## (料理)

料理の撮影に適しています。料理を鮮やかに表現します。

### ご注意

 (AF) ボタンを押して内蔵フラッシュを上げて、フラッシュ撮影することもできます。

---

### 三脚の使用について

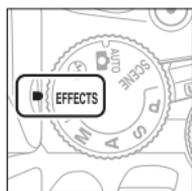
暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

# 特殊効果をつけて撮影する (スペシャルエフェクトモード)

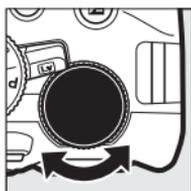
特殊な効果のついた画像を撮影できます。

## ■ スペシャルエフェクトモードの設定方法

撮影モードダイヤルを**EFFECTS**に合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定を変更します。



撮影モード  
ダイヤル



コマンドダイヤル



液晶モニター

- 次のスペシャルエフェクトモードから設定できます。

 ナイトビジョン	 ミニチュア効果
 極彩色	 セレクトカラー
 ポップ	 シルエット
 フォトイラスト	 ハイキー
 トイカメラ風	 ローキー

## ■ 各スペシャルエフェクトモードの特徴

---



### (ナイトビジョン)

意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗闇での撮影に適しています。

#### ☑ ご注意

- オートフォーカスはライブビュー撮影時のみ使えます。
  - オートフォーカスでピントが合いにくい場合は、フォーカスモードを [MF]（マニュアルフォーカス）に設定してください。
  - 撮影した画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。
  - 内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。
- 

### VI (極彩色)

画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。

---

### POP (ポップ)

画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気になります。

---



### (フォトイラスト)

輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風に表現します。

- ライブビュー表示にすると、 (フォトイラスト) の効果を設定できます (□65)。

#### ☑ ご注意

- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
  - 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として記録されます。
  - 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。
-

---

## (トイカメラ風)

色の濃さと周辺減光量を調整し、トイカメラで撮影したように表現します。

- ライブビュー表示にすると、 (トイカメラ風) の効果を設定できません (□66)。

---

## (ミニチュア効果)

ミニチュア (模型) を接写したように表現します。高いところから見下ろして撮影する場合に適しています。

- ライブビュー表示にすると、 (ミニチュア効果) の効果を設定できません (□67)。

### ご注意

- 内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。
- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。
- 動画撮影の場合は音声は記録されません。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

---

## (セレクトカラー)

選んだ色のみをカラーで残し、それ以外の色をモノトーン (白黒) で表現します。

- ライブビュー表示にすると、 (セレクトカラー) の効果を設定できません (□69)。

### ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

---

## (シルエット)

背景が明るいシーンで、被写体を意図的にシルエットで表現します。

### ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

---



## (ハイキー)

全体的に明るめの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に明るいトーンで表現します。光に満ちた華やかな雰囲気になります。

### ▼ ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。



## (ローキー)

全体的に暗めの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に暗いトーンで表現します。深く落ち着き、ハイライト部分が引き立った雰囲気になります。

### ▼ ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

### 📎 三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

### 📎 スペシャルエフェクトモードについて

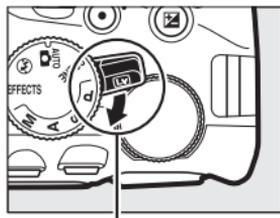
- 撮影モードが 、VI、POP、、 または の場合に画質モード [RAW] で撮影すると、画質モード FINE で画像が記録されます。RAW と JPEG を同時に記録した場合は、JPEG 画像のみが記録されます。
- 撮影モードが または のときにリリースモードを [L] (低速連続撮影) または [H] (高速連続撮影) に設定した場合、連続撮影速度が遅くなります。
- 撮影モードが または のときは、ライブビュー時の表示の更新は遅くなります。

## 11 (フォトイラスト) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで  を選んだ後、効果を設定します。

### 1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

### 2 OK ボタンを押す

- フォトイラストの設定画面が表示されます。



### 3 線の太さを設定する

- マルチセレクターの  を押すと細くなり、 を押すと太くなります。



### 4 決定する

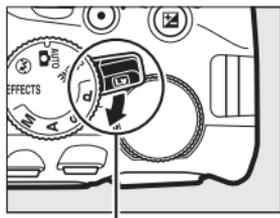
- OK ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回してライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効果は維持されます。

## ■ ㊄ (トイカメラ風) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで ㊄ を選んだ後、効果を設定します。

### 1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

### 2 OK ボタンを押す

- トイカメラ風の設定画面が表示されます。



### 3 色の濃さと周辺減光を設定する

- マルチセレクターの  $\odot$  または  $\ominus$  を押して、設定したい項目を選びます。
- [色の濃さ] :  $\blacktriangle$  を押すと色が濃くなり、 $\blacktriangleleft$  を押すと薄くなります。
- [周辺減光] :  $\blacktriangle$  を押すと減光効果が強くなり、 $\blacktriangleleft$  を押すと弱くなります。



### 4 決定する

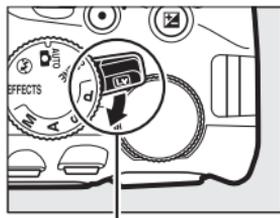
- OK ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回してライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効果は維持されます。

## ■ 効果 (ミニチュア効果) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで効果を選んだ後、効果を設定します。

### 1 ライブビュースイッチを回す

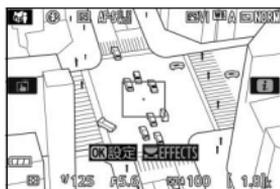
- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

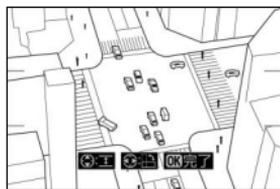
### 2 フォกัสポイントを被写体に重ねる

- マルチセレクターで、ぼかさないのではっきりと見せたい部分にフォーカスポイントを移動します。
- シャッターボタンを半押しして、ピン트가合う部分を確認します。
- Qボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピン트를細部まで確認できます。Q(?)ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- 拡大表示中は効果が一時解除されます。



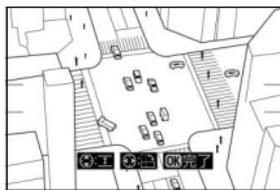
### 3 OKボタンを押す

- ミニチュア効果の設定画面が表示されます。



### 4 効果をかける方向と幅を設定する

- ⬆️または⬇️を押すと、効果をかける方向を縦と横から選べます。
- ⬅️または⬇️を押すと、効果をかける幅を設定できます。



## 5 決定する

- **OK** ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回してライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効果は維持されます。

### ミニチュア効果での動画撮影について

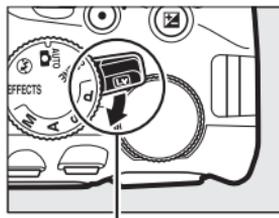
動画の記録時間は撮影にかかる時間よりも短くなります。たとえば、撮影メニュー「**動画の設定**」の「**画像サイズ/フレームレート**」が1920 × 1080、30pの場合（□89）、約3分の動画ファイルを作成するためには、約45分の撮影時間が必要です。

## ■ ④ (セレクトカラー) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで④を選んだ後、効果を設定します。

### 1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

### 2 OK ボタンを押す

- セレクトカラーの設定画面が表示されます。



### 3 残したい色を抽出する

- カメラを動かして画面中央の枠を残したい色の被写体に重ねます。
- ④ ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、残したい色を細部まで確認できます。④ (?) ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- マルチセクターの④を押すと、画面中央の枠に重ねた被写体の色が抽出され、色の枠に表示されます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーン (白黒) で表示されます。



### 4 抽出する色の感度を設定する

- ④ または ④ を押して、抽出する色の感度を [1] ~ [7] から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。



## 5 抽出する色を追加する

- コマンドダイヤルを回して別の色の枠を選び、手順3～4と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定します。
- 最大3色まで設定できます。
- 抽出した色を選んで  ボタンを押すと、抽出した色をリセットします。
- 抽出した全ての色を削除したい場合は、 ボタンを押し続けます。確認画面で **[はい]** を選んで  ボタンを押すと、全ての色をリセットします。



## 6 決定する

-  ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回してライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効果は維持されます。

### セレクトカラー設定時のご注意

- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の抽出をおすすめします。
- 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。

# P、S、A、Mモードで撮影する

撮影モードダイヤルを回して撮影モードP、S、A、Mを選ぶと、撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。



<b>P</b> プログラムオート (☑72)	シャッターチャンス逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
<b>S</b> シャッター優先オート (☑72)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
<b>A</b> 絞り優先オート (☑72)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
<b>M</b> マニュアル (☑73)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。長時間露出 (バルブ、タイム) 撮影も、このモードで行います。

## 📷 内蔵フラッシュを使った撮影について

🔦 (☑74) ボタンを押して内蔵フラッシュを上げて、フラッシュ撮影することもできます。

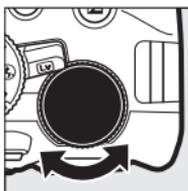
## P：プログラムオート

シャッターチャンスを見逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて、露出が適正になるようにカメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。

## S：シャッター優先オート

動きを写し止めて撮影したいときや、被写体の動きを強調する撮影に適しています。シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。

- コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。



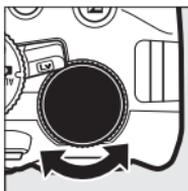
コマンドダイヤル



## A：絞り優先オート

背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせたい場合や、近くから遠くまでピントの合った写真を撮りたい場合に適しています。絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。

- コマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、右に回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）ます。



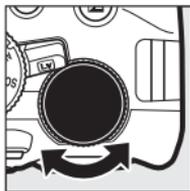
コマンドダイヤル



## M：マニュアル

露出インジケータ（□74）を確認しながら、シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。

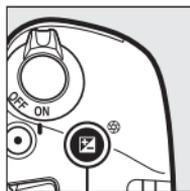
- **シャッタースピードの設定**：コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。



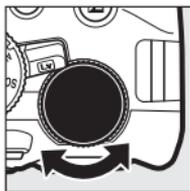
コマンドダイヤル



- **絞り値の設定**： (  ) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、右に回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）ます。



 (  ) ボタン

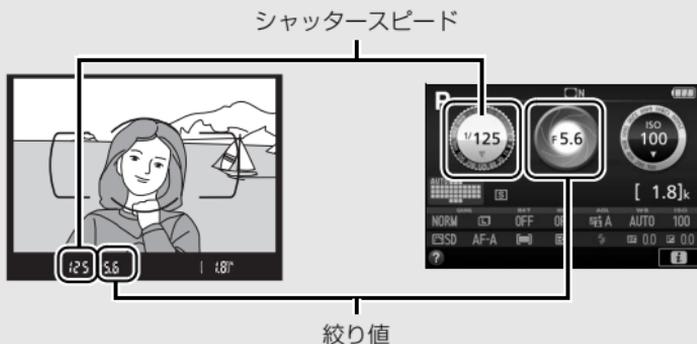


コマンドダイヤル

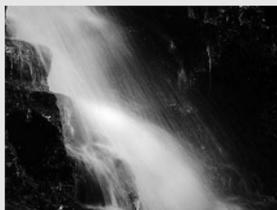


## シャッタースピードと絞り値について

シャッタースピードと絞り値は、ファインダー内とインフォ画面に表示されます。



動きの速い被写体を撮影したいときは、速いシャッタースピードに設定する  
(シャッタースピード：1/1600秒)



被写体の動きを強調したいときは、遅いシャッタースピードに設定する  
(シャッタースピード：1秒)



メインとなる被写体を浮か立たせたいときは、絞りを開く  
(絞り値：F5.6)



近くから遠くまでピントの合った写真を撮影するには、絞りを絞り込む  
(絞り値：F22)

## 露出インジケータの見方

適正露出	1/3段アンダー	2段以上オーバー
- . 0 . + 	- . 0 . + 	- . 0 +      ▶

## 画像の明るさを調整する（露出補正）

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います（撮影モードP、S、A、シーンモード、のみ）。



-1段補正



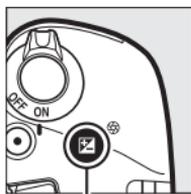
露出補正なし



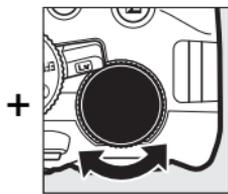
+1段補正

### 露出補正值を変える

-  (⊕) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファインダー内とインフォ画面の露出補正值が変わります。



 (⊕) ボタン



コマンドダイヤル



インフォ画面



-0.3段補正



+2段補正

- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正します。

### 露出補正の設定について

露出補正は、インフォ画面でも設定できます (☞12)。

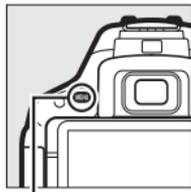


### 露出補正の解除について

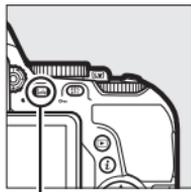
撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で露出補正を行った場合、露出補正を解除するには補正値を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正値の設定は解除されません。シーンモードまたは $\square$ で露出補正を行った場合、撮影モードを切り換えるか、カメラの電源をOFFにすると露出補正値の設定は解除されます。

# 最初の設定に戻す (ツーボタンリセット)

MENU ボタンと **info** ボタン（緑色の●印がついています）を同時に約2秒間押すと、インフォ画面がいったん消灯してから再点灯し、次の各機能が初期設定に戻ります。



MENU ボタン

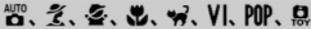


**info** ボタン

## ■■ インフォ画面で設定できる機能

画質モード	NORMAL
画像サイズ	サイズL
オートブラケティング	
P、S、A、M	解除 (OFF)
HDR (ハイダイナミックレンジ)	
P、S、A、M	しない
アクティブD-ライティング	
P、S、A、M	オート
ホワイトバランス	
P、S、A、M	オート
ホワイトバランスの調整値	
P、S、A、M	—
ISO感度	
P、S、A、M	100
P、S、A、M以外の撮影モード	オート
ピクチャーコントロールの調整値*	
P、S、A、M	—

※ 現在選択中のピクチャーコントロールのみ解除されます。

フォーカスモード	
ファインダー撮影	
 以外の撮影モード	AFサーボモード 自動切り換え
ライブビュー / 動画撮影	シングルAFサーボ
AFエリアモード	
ファインダー撮影	
	シングルポイントAF
	ダイナミックAF (39点)
AUTO  ●、VI、POP、  、  、  、P、S、A、M	オートエリアAF
ライブビュー / 動画撮影	
	顔認識AF
 P、S、A、M	ワイドエリアAF
	ノーマルエリアAF
測光モード	
P、S、A、M	マルチパターン測光
フラッシュモード	
AUTO 	通常発光オート
	通常発光オート＋ スローシャッター
	赤目軽減オート
	発光禁止
P、S、A、M	通常発光
フラッシュ調光補正	
シーンモード、P、S、A、M	解除 (0.0)
露出補正	
シーンモード、  、P、S、A、M	解除 (0.0)

## ■ その他の撮影関連の機能

RAW記録	14ビット記録
露出ディレーモード	しない
レリーズモード	
	高速連続撮影
その他の撮影モード	1コマ撮影
フォーカスポイント	中央
AE/AFロックボタンのホールド状態	
 、  以外の撮影モード	解除
プログラムシフト	
P	解除
スペシャルエフェクトモードの効果	
フォトイラスト	
線の太さ	-  +
トイカメラ風	
色の濃さ	0
周辺減光	0
ミニチュア効果	
効果をかける方向	横方向
効果をかける幅	標準
セレクトカラー	
抽出した色	リセット
色の感度	3

# Wi-Fiを使う

## Wi-Fiを使ってできること

このカメラは、専用ソフトウェアWireless Mobile UtilityをインストールしたスマートデバイスとWi-Fi（無線LAN）で通信できます（□81）。



### 📄 スマートデバイスにWireless Mobile Utilityをインストールする

Google PlayサービスまたはApp Storeで「Wireless Mobile Utility」を検索し、スマートデバイスにインストールしてください。ソフトウェアの検索方法については、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

- Wireless Mobile Utilityの詳細な操作方法は、下記のホームページから使用説明書（PDF形式）をダウンロードしてご覧ください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>

- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>



Android OS



iOS

## カメラとスマートデバイスを接続する

Wi-Fi（無線LAN）を使う前に、Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしてから、スマートデバイスとカメラを接続してください。スマートデバイスとカメラを接続する方法は、お使いのスマートデバイスの種類によって異なります。

Android OS	<b>WPS プッシュボタン方式</b> ：スマートデバイスがWPS接続に対応している場合（スマートデバイスの <b>[Wi-Fi設定]</b> に <b>[WPSボタン接続]</b> がある場合）、簡単な操作でカメラとスマートデバイスを接続できます（□82）。
	<b>WPS PINコード方式</b> ：スマートデバイスがWPS接続に対応している場合、スマートデバイスのPINコードをカメラに入力することで、カメラとスマートデバイスを接続できます（□83）。
	<b>SSIDの表示</b> ：スマートデバイスがWPS接続に対応していなくても、カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます（□85）。
iOS	<b>SSIDの表示</b> ：カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます（□85）。

### ✓ セキュリティー設定について

初めてカメラとスマートデバイスを接続するときにWPSを使用しない場合、パスワードなどのセキュリティーは設定されません。セキュリティーの設定は、接続後にWireless Mobile Utilityを使って行うことができます。設定方法については、Wireless Mobile Utilityの説明書をご覧ください。

- Wireless Mobile Utilityの使用説明書（PDF）は、下記のホームページからダウンロードしてご覧ください。
  - Android OS：<http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>
  - iOS：<http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

# WPSプッシュボタン接続でスマートデバイスと接続する（Android OSのみ）

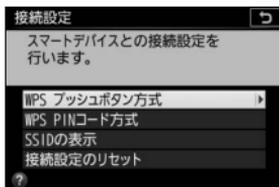
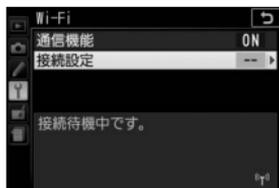
## 1 Wi-Fiの「通信機能」を「有効」にする

- セットアップメニューの「Wi-Fi」を選んでマルチセレクターの $\odot$ を押します。
- 「通信機能」を選んで $\odot$ を押し、「有効」を選んで $\text{OK}$ ボタンを押します（通信機能が有効になるまで、数秒間かかります）。



## 2 カメラ側とスマートデバイス側で同時にWPSボタン接続操作をする

- カメラ側：
  - 「接続設定」を選んで $\odot$ を押します。
  - 「WPSプッシュボタン方式」を選んで $\odot$ を押すと、カメラが約2分間接続待機状態になります。
  - 接続待機状態を延長するには、 $\text{OK}$ ボタンを押してください。
- スマートデバイス側：
  - スマートデバイスの「Wi-Fi設定」から「WPSボタン接続」を選びます。



### 3 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

## スマートデバイスのPINコードをカメラに入力して接続する（Android OSのみ）

### 1 Wi-Fiの【通信機能】を【有効】にする

- セットアップメニューの【Wi-Fi】を選んでマルチセクターの▶を押します。

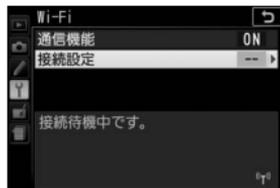


- 【通信機能】を選んで▶を押し、【有効】を選んでOKボタンを押します（通信機能が有効になるまで、数秒間かかります）。

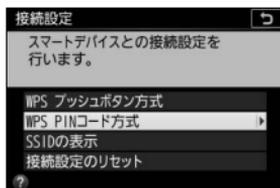


## 2 [接続設定] で [WPS PINコード方式] を選ぶ

- [接続設定] を選んで  を押します。



- [WPS PINコード方式] を選んで  を押します。



## 3 スマートデバイスのPINコードを入力する

-  または  を押して桁を選び、 または  を押して数値を設定し、 ボタンを押します。

## 4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

# カメラのSSIDをスマートデバイスで選んで接続する (Android OS/iOS)

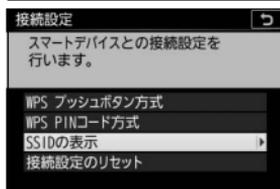
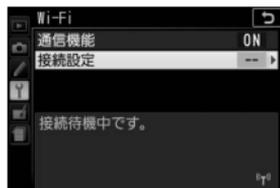
## 1 Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にする

- セットアップメニューの [Wi-Fi] を選んでマルチセレクターの▶を押します。
- [通信機能] を選んで▶を押し、[有効] を選んでOKボタンを押します (通信機能が有効になるまで、数秒間かかります)。



## 2 カメラのSSIDを表示する

- [接続設定] を選んで▶を押します。
- [SSIDの表示] を選んで▶を押します。



### 3 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

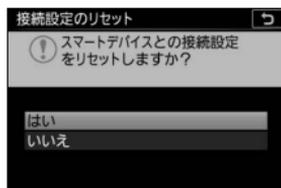
- スマートデバイスのWi-Fi接続に関連する設定メニューで、カメラの液晶モニターに表示されているSSIDを選びます。

### 4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

## Wi-Fi接続設定をリセットするには

[Wi-Fi] の [接続設定] で [接続設定のリセット] を選んでマルチセレクターの  を押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選んで  ボタンを押すと、接続先などの接続設定が、工場出荷時の設定にリセットされます。



### Wi-Fi通信表示について

Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にすると、インフォ画面で  (Wi-Fi通信表示) が点滅します。スマートデバイスとカメラの接続が完了し、Wireless Mobile Utilityで通信している間は、 が点灯します。



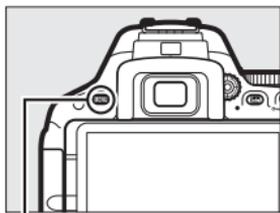
## ✔ Wi-Fi接続についてのご注意

- Wi-Fi (無線LAN) をお使いの前に、「Wi-Fi (無線LAN) 機能について」(□xix)をお読みください。
- 電波の出力が禁止されている場所では、[Wi-Fi] の [通信機能] を [無効] にしてください。
- カメラのWi-Fi機能は、SDカードを挿入していないと使えません。USBケーブルまたはHDMIケーブルを接続しているときも使えません。
- スマートデバイスからWireless Mobile Utilityでカメラと通信している間は、半押しタイマーはオフになりません (通信を行わずに約5分経過すると、半押しタイマーがオフになります)。
- Wi-Fi接続中は、Eye-Fiカードでデータを送信できません。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。
- 次の場合に、Wi-Fiの通信機能が無効になります。
  - セットアップメニュー [Wi-Fi] の [通信機能] で [無効] を選んだとき
  - カメラの電源をOFFにしたとき
  - 動画撮影を開始したとき

# メニューの使い方

再生や撮影、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニュー画面を使います。

**MENU** ボタンを押すと、液晶モニターに次のようなメニュー画面（例：セットアップメニュー）を表示します。



MENUボタン

## メニュー切り換えタブ

次の各メニューのアイコンのタブを選ぶと、選んだメニュー画面が表示されます。

	再生メニュー
	撮影メニュー
	カスタムメニュー
	セットアップメニュー
	画像編集メニュー
	最近設定した項目/マイメニュー*

\* どちらかに設定できます。初期設定は【最近設定した項目】です。



各項目の現在の設定をアイコンで表示します

ヘルプあり表示 (□93)

## メニュー項目

タブで選んだメニュー内にある設定項目を一覧表示します

# メニュー項目の一覧

## 再生メニュー：再生で使える便利な機能

削除	縦位置自動回転
再生フォルダー設定	スライドショー
再生画面設定	プリント指定 (DPOF)
撮影直後の画像確認	レーティング
縦横位置情報の記録	スマートデバイスへの送信指定

## 撮影メニュー：撮影で使える便利な機能

撮影メニューのリセット	アクティブD-ライティング
記録フォルダー設定	HDR (ハイダイナミックレンジ)
ファイル名設定	レリーズモード
画質モード	長秒時ノイズ低減
画像サイズ	高感度ノイズ低減
RAW記録	ヴィネットコントロール
ISO感度設定	自動ゆがみ補正
ホワイトバランス	インターバルタイマー撮影
ピクチャーコントロール	光学手ブレ補正*
カスタムピクチャーコントロール	動画の設定
色空間	

※ このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

## ■ カスタムメニュー：撮影に関するさらに 詳細な設定

### カスタムメニューのリセット

#### a オートフォーカス

a1：AF-Cモード時の優先

a2：AF点数切り換え

a3：内蔵AF補助光の照射設定

a4：フォーカスエイドインジケーター

a5：AF設定時のフォーカスリング操作※

#### b 露出

b1：露出設定ステップ幅

b2：ISO感度表示

#### c AEロック・タイマー

c1：半押しAEロック

c2：パワーオフ時間

c3：セルフタイマー

c4：リモコン待機時間 (ML-L3)

### d 撮影・記録・表示

d1：露出ディレイモード

d2：連番モード

d3：ファインダー内格子線表示

d4：日付写し込み設定

d5：インジケーターの+/-方向

### e フラッシュ・BKT撮影

e1：内蔵フラッシュ発光/外付けフラッシュ発光

e2：オートブラケティングのセット

### f 操作

f1：Fnボタンの機能

f2：AE/AFロックボタンの機能

f3：タッチFnの機能

f4：コマンドダイヤル回転方向の変更

※ このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

## ■ Y セットアップメニュー：カメラを使いやすくする基本設定

カードの初期化（フォーマット）	クリーニングミラーアップ
画像コメント	イメージダストオフデータ取得
著作権情報	フリッカー低減
地域と日時	カードなし時リリース
言語（Language）	ビデオ出力
電子音	HDMI
タッチ操作	アクセサリターミナル
モニターの明るさ	Wi-Fi
インフォ画面デザイン	Eye-Fi送信機能*
インフォ画面の自動表示	認証マークの表示
インフォ画面の自動消灯	ファームウェアバージョン
イメージセンサークリーニング	

※ この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます。

## ■ 画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

RAW現像	モノトーン
トリミング	画像合成
リサイズ	塗り絵
D-ライティング	フォトイラスト
簡単レタッチ	カラースケッチ
赤目補正	ミニチュア効果
傾き補正	セレクトカラー
ゆがみ補正	絵画調
アオリ効果	動画編集
魚眼効果	編集前後の画像表示*
フィルター効果	

※ 編集前または編集後の画像を1コマ表示して  ボタンを押して、[画像編集] を選んだときのみ表示されます。

## ■ 最近設定した項目 / ■ マイメニュー

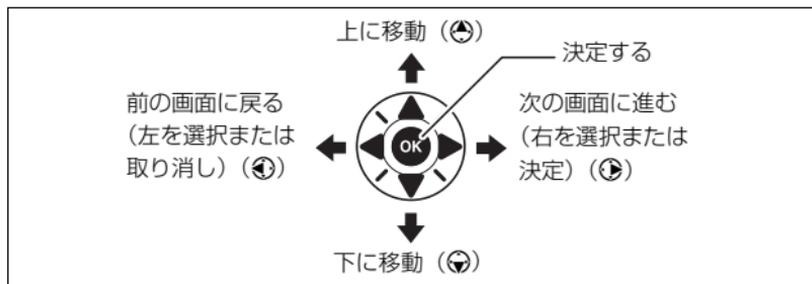
【最近設定した項目】を選ぶと、最後に設定したメニュー項目から順番に最新の20項目が自動的に表示されます。【マイメニュー】を選ぶと、よく使うメニュー項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。

### ■ メニューについて

各メニュー項目の機能については、カメラのヘルプ (P.93) をお使いください。

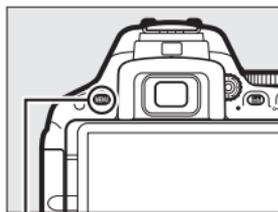
## ■ メニュー項目の設定方法

メニューの操作には、マルチセレクターと **OK** ボタンを使います。



### 1 メニュー画面を表示する

- **MENU** ボタンを押します。

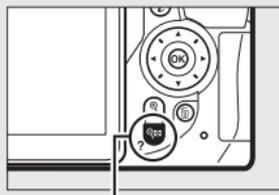


MENU ボタン

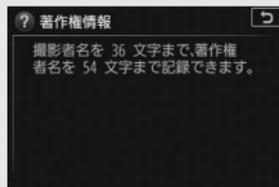
### 🔍 (?) (ヘルプあり表示)

ヘルプがある場合に **🔍 (?)** ボタンを押すと、その項目のヘルプ (説明) を表示します。

- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの **▼** を押して、次のページを表示してください。
- もう一度 **🔍 (?)** ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。



🔍 (?) ボタン



## 2 メニューのタブを選ぶ

- マルチセクターの  を押して、タブのアイコンを黄色く表示します。



## 3 メニューを切り換える

-  または  を押して、メニューのタブを切り換えます。



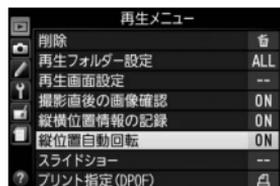
## 4 選んだメニューに入る

-  を押して、選んだメニューに入ります。



## 5 メニュー項目を選ぶ

-  または  で項目を選びます。



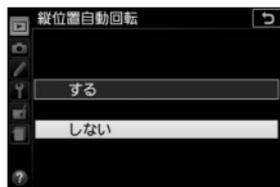
## 6 設定内容を表示する

-  を押して設定内容を表示します。



## 7 設定内容を選ぶ

-  または  で設定内容を選びます。



## 8 決定する

-  ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル（中止）するには、**MENU** ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し () してください。



### メニュー項目の設定について

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
-  ボタンの代わりに  を押しても決定できますが、画像の削除やSDカードの初期化などの重要な設定項目については、 ボタンしか使えません。

# ViewNX 2

## ViewNX 2をインストールする

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有を可能とするソフトウェアです。ViewNX 2のインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページ（[□xvi](#)）のサポート情報でご確認ください。

- ViewNX 2は、下記のホームページからインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- 画像調整用ソフトウェアCapture NX-Dも下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

### Capture NX-Dについて

Capture NX-Dを使用すると、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできます。また、イメージダストオフ機能を使用してRAW画像からゴミの写り込みを取り除くこともできます。

### 必ず最新バージョンのソフトウェアをお使いください

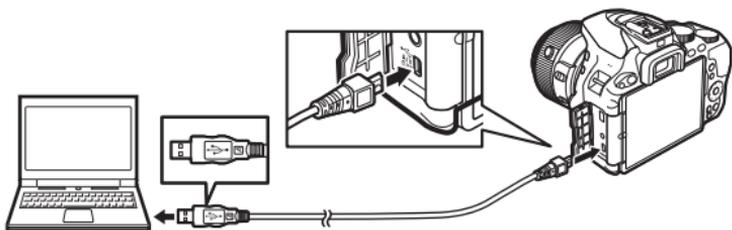
お使いのカメラに対応していないバージョンのソフトウェアを使用すると、RAW画像をカメラからパソコンへ正常に転送できないことがあります。必ず最新バージョンのソフトウェアをお使いください。

# ViewNX 2を使う

## パソコンに画像を取り込む

### 1 パソコンに接続する

- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにします。



### 2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

### 3 画像をパソコンに取り込む

- [転送開始] をクリックすると、記録されている画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。



[転送開始]

## 4 接続を解除する

- カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

### ViewNX 2の詳しい使い方は

ViewNX 2のヘルプを参照してください。

### Windows 7をお使いの場合

図のような画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 [画像とビデオのインポート]で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ
  - [画像とビデオのインポート]の[プログラムの変更]をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用]を選んで、[OK]をクリックします。
- 2 [画像ファイルを取り込む]をダブルクリックする

### Windows 8.1をお使いの場合

Windows 8.1の設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。この場合は次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

- 1 ダイアログをクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2]をクリックする

タップして、このデバイスに対して行う操作を選んでください。

このデバイスに対して行う操作を選んでください。

-  画像ファイルを取り込む  
Nikon Transfer 2
-  デバイスを開いてファイルを表示する  
エクスプローラー
-  写真とビデオのインポート  
フォト
-  何もしない

# 資料

このカメラで使えるアクセサリやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

## 使用できるレンズ

このカメラでオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-S、AF-P、AF-Iのいずれかのレンズが必要です。AF-S、AF-P、AF-Iは、レンズ名の次の部分に明示されています。

### AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II

レンズ名のこの部分がAF-S、AF-P、またはAF-Iであることをご確認ください。

このカメラで使用できるCPUレンズとレンズの仕様によるファインダー撮影時の制限は次の通りです。

モード レンズ	フォーカスモード			撮影モード		測光モード		
	AF (オート フォーカス)	フォーカス エイド	MF (マニュアル フォーカス)	M	M 以外	📷		📷 / 📷
						3D-RGB	RGB	
AF-Sレンズ、 AF-Pレンズ、 AF-Iレンズ	○	○	○	○	○	○	×	○※1
Gタイプレンズ、 DタイプのAFレンズ	×	○	○	○	○	○	×	○※1
PC-E NIKKOR シリーズ※2,3	×	○※4	○	○	○	○	×	○※1
PCマイクロ 85mm F2.8D※5	×	○※4	○	○	×	○	×	○※1
AF-S/AF-Iテレコン バーター	○※6	○※6	○	○	○	○	×	○※1

モード レンズ	フォーカスモード			撮影モード		測光モード		
	AF (オート フォーカス)	フォーカス エイド	MF (マニュアル フォーカス)	M	M 以外	☑		☑ / □
						3D-RGB	RGB	
Gタイプ、Dタイプ 以外のAFレンズ (F3AF用を除く)	×	○※7	○	○	○	×	○	○※1
AI-Pニッコール	×	○※8	○	○	○	×	○	○※1

- ※1 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能。
  - ※2 PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D EDを装着してレボルピング操作をすると、レンズのシフトノブがカメラボディーに接触する場合があります。
  - ※3 アオリ操作をしているときは適正露出になりません。
  - ※4 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
  - ※5 アオリ操作をしているとき、または開放絞り以外のときは適正露出になりません。
  - ※6 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。
  - ※7 AF80–200mm f/2.8S、AF35–70mm f/2.8S、AF28–85mm f/3.5–4.5S (New)、AF28–85mm f/3.5–4.5Sレンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とフォーカスエイドのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、ファインダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。
  - ※8 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。
- 高感度で動画撮影を行う場合、オートフォーカスの作動中にノイズ（すじ）が発生することがあります。この場合は、マニュアルフォーカスまたはフォーカスロックを利用して撮影してください。

#### ☑ 使用できるレンズについてのご注意

AF-S、AF-P、AF-I以外のオートフォーカス（AF）レンズを装着しても、このカメラではオートフォーカス撮影できません。また、IXニッコールレンズは装着できません。

## 使用できるアクセサリ

このカメラには撮影領域を広げるさまざまなアクセサリが用意されています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

電源	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a</b> (□25) ニコンデジタルカメラD5500用のバッテリーです。<ul style="list-style-type: none"><li>- EN-EL14aの代わりにEN-EL14も使えます。</li></ul></li><li>● <b>バッテリーチャージャー MH-24</b>*1 (□25) Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aおよびEN-EL14用のチャージャーです。</li><li>● <b>パワーコネクター EP-5A、ACアダプター EH-5b</b>*2 ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。<ul style="list-style-type: none"><li>- このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5Aが必要です。</li><li>- EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。</li></ul></li></ul> <p>*1 家庭用電源のAC 100～240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。</p> <p>*2 日本国内専用電源コード（AC 100V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。</p>
アクセサリ シューカバー	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>アクセサリシューカバー BS-1</b> スピードライトを取り付けるアクセサリシューを保護するためのカバーです。</li></ul>
ボディ キャップ	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ボディキャップBF-1B、BF-1A</b> レンズを取り外したカメラボディに取り付けることにより、ミラーや撮像素子、ファインダースクリーンなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。</li></ul>

### 🔪 使用できるアクセサリについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

<p>フィルター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルターをお使いください。</li> <li>• カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター（Polar）は使用できません。円偏光フィルター（C-PL、C-PL II）をお使いください。</li> <li>• 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。</li> <li>• 露出倍数のかかるフィルター（Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL（円偏光フィルター）、ND2S、ND4S、ND4、ND8S、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12）を使用する場合、[測光モード]を[☉]（中央部重点測光）にして撮影することをおすすめします。[☉]（マルチパターン測光）では、十分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>• 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> </ul>
<p>ニコンデジタルカメラ専用ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Camera Control Pro 2</b> パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> <li>• ソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。ご使用のパソコンがインターネットに接続されている場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、Nikon Message Center 2はソフトウェアの更新情報などを確認します（初期設定）。更新情報がある場合は、「通知の画面」が自動的に表示されます。</li> <li>• 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報（☐xvi）でご確認ください。</li> </ul>

<p>ファインダー用 アクセサリ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>アイピースキャップDK-5</b> カメラの接眼部に取り付けると、適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぎます。</li> <li>● <b>接眼補助レンズDK-20C</b> 遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだけで簡単に取り換えることができます。-5、-4、-3、-2、0、+0.5、+1、+2、+3m<sup>-1</sup>の9種類が用意されていますが、いずれもこのカメラの視度調節ダイヤルが基準位置(-1m<sup>-1</sup>)の場合の値です。視度補正は個人差が大きいので店頭で実際に取り付けてお選びください。このカメラには視度調節機能が付いています(-1.7~+0.5m<sup>-1</sup>)ので、この範囲外の視度補正が必要なときにお使いください。なお、接眼補助レンズを使用している場合は、接眼目当ては使用できません。</li> <li>● <b>マグニファイヤー DG-2</b>*1 ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合わせが必要なときに使用します。</li> <li>● <b>アイピースアダプター DK-22</b>*2 上記DG-2を取り付けるためのアダプターです。</li> <li>● <b>角窓用変倍アングルファインダー DR-6</b>*1、2 カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラの真上など)からファインダー内の画像を確認できます。</li> </ul>
<p>USB/ オーディオ ビデオ出力端子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>USBケーブルUC-E23、UC-E6</b> (□97) USBケーブルUC-E23は、単体では販売していません。UC-E6をお買い求めください。</li> <li>● <b>オーディオビデオケーブルEG-CP16</b></li> </ul>
<p>HDMIケーブル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>HDMIケーブルHC-E1</b> カメラ側がType C、HDMI機器側がType AのHDMIケーブルです。</li> </ul>
<p>外部マイク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ステレオマイクロホンME-1</b></li> </ul>

※1 装着時には、カメラのアイセンサーが適切に反応しないため、必要に応じて、セットアップメニューの[インフォ画面の自動消灯](□91)を[しない]に設定してください。

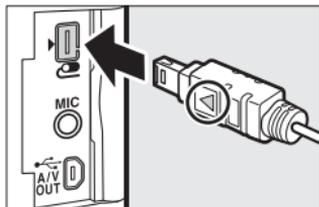
※2 装着時には、カメラの液晶モニターを回転できません。

アクセサリ  
ターミナル

アクセサリターミナルに次のアクセサリを接続することができます。

- ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10
- ワイヤレスリモートコントローラー WR-1
- リモートコード MC-DC2
- GPSユニット GP-1/GP-1A

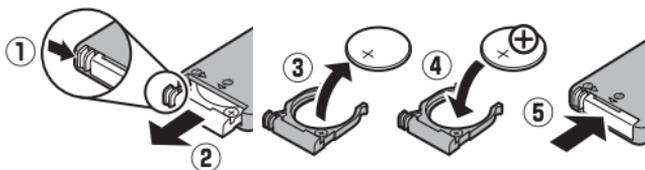
図のようにアクセサリターミナルの▷マークとコネクターの◁マークを合わせて、コネク터를アクセサリターミナルに接続します。



使用しないときは、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミ等が入ると、誤作動の原因となることがあります。

- リモコン ML-L3 (□5)

リモコン用電池 (CR2025型3Vリチウム電池) の交換方法



電池室のノブを右側に押しながら (①)、隙間に爪などを差し込んで手前に引き出して (②) ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください (④)。

- ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10/WR-T10

ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10をカメラのアクセサリターミナルに装着すると、ワイヤレスリモートコントローラー WR-T10からの操作で無線での遠隔撮影を行えます。

- ワイヤレスリモートコントローラー WR-1

WR-1は、他のWR-1やWR-R10またはWR-T10と組み合わせ、送信機または受信機として使います。たとえば、受信機に設定したWR-1をカメラのアクセサリターミナルに取り付けると、送信機に設定したWR-1からの操作で、遠隔撮影することができます。

リモコン/  
ワイヤレス  
リモートコント  
ローラー

# 推奨SDカード

次のSDカードの動作を確認しています。

	SD	SDHC	SDXC
	メモリーカード	メモリーカード※2	メモリーカード※3
SanDisk製	2 GB※1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
東芝製	—	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic製	2 GB※1	4 GB、6 GB、8 GB、 12 GB、16 GB、 24 GB、32 GB	48 GB、64 GB
LEXAR MEDIA社製	2 GB※1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	—
プラチナIIシリーズ	—	8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB
プロフェッショナル シリーズ	—	8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB、128 GB、 256 GB
フルHDビデオ カードシリーズ	—	4 GB、8 GB、16 GB	—

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。



- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

# カメラのお手入れについて

## 保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

## クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブローアード払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
レンズ・ミラー・ファインダー	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアード払いします。スプレー缶タイプのブローアードは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブローアード払いします。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

### 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

# カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

## カメラの使用上のご注意

### ● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

### ● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

### ● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

### ● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

### ● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

### ● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、プロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

### ● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブローアで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのプロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、ミラーやレンズを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

### ● 撮像素子前面の手入れ方法について

撮像素子前面のクリーニングの方法については活用ガイドをご覧ください。

### ● シャッター幕に触れない

シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブローアなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。

### ● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤があるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

### ● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくことより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

### ● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態、バッテリーを取り出した、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

### ● 液晶モニターについて

- モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押しついたりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブローアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

### ● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

## バッテリーの使用上のご注意

お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□ix～xv)をお読みになり、記載事項をお守りください。

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
  - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
  - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
  - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
  - 必ず指定のバッテリーを使う。
  - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
  - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃～15℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。

### ● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

### ● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

### ● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

### ● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 十分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーをお求めください。

### ● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

### ● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

## チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、チャージャーをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャーMH-24対応のバッテリー以外は充電しないでください。

## 警告メッセージ

液晶モニターとファインダーに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

### 警告表示について

液晶モニターに , またはファインダー内に  が点滅している場合に  (?) ボタンを押すと、警告の内容を確認することができます。

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
レンズの絞りリングを最小絞り（一番大きい数字）にしてください。	 (点滅)	レンズの絞りリングを最小絞り（最も大きい値）にしてください。
レンズ未装着	 (点滅)	<ul style="list-style-type: none"><li>• レンズを装着してください。</li><li>• 非CPUレンズを装着しているときは、撮影モード <b>M</b> で撮影してください。</li></ul>
撮影するにはズームリングを回してレンズを繰り出してください。	 (点滅)	レンズが収納されています。ズームリングボタンを押しながらズームリングを回して、ロックを解除してください。
撮影できません。バッテリーを交換してください。	 (点滅)	残量のあるバッテリーに交換してください。
このバッテリーは使用できません。専用バッテリーに交換してください。	 (点滅)	専用バッテリーに交換してください。

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
起動エラーが発生しました。復旧には電源スイッチをOFFにして再度ONにしてください。	 /[Err] (点滅)	電源を一度OFFにしてから、バッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。
バッテリーが残り少なくなりました。ただちに作業を終了し、電源スイッチをOFFにしてください。	—	クリーニングを中止し、電源をOFFにしてください。
日時未設定	—	日時を設定してください。
メモリーカード未挿入	[-E-]/  (点滅)	SDカードを正しく入れてください。
メモリーカードが書き込み禁止になっています。	[d] (点滅)	SDカードのロックを解除してください。
このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。カードを交換してください。	[d]/[Err] (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>このカメラで使用できるSDカードであるかどうかを確認してください。</li> <li>SDカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。</li> <li>新規フォルダー作成時にこのメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除してください。</li> <li>新しいSDカードに交換してください。</li> </ul>

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしてください。	<b>[For]</b> (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDカードをカメラで初期化してください。</li> <li>電源をOFFにしてから、正しく初期化されたSDカードに交換してください。</li> </ul>
メモリーカード空き容量不足	<b>Ful/0/?</b> (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDカードに記録されている画像を削除して、SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。</li> <li>新しいSDカードに交換してください。</li> </ul>
—	● (点滅)	構図を変えるか、マニュアル（手動）でピントを合わせてください。
被写体が明るすぎます	? (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO感度を低くしてください。</li> <li>シャッタースピードをより高速側にセットしてください。</li> <li>絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。</li> <li>市販のND（光量調節用）フィルターをお使いください。</li> <li>☑ の場合は、撮影モードを切り換えてください。</li> </ul>
被写体が暗すぎます	? (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO感度を高くしてください。</li> <li>フラッシュをお使いください。</li> <li>シャッタースピードをより低速側にセットしてください。</li> <li>絞りを開いて（より小さい数値にして）ください。</li> </ul>

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
Sモード時Bulb 制御不可	<b>bulb</b> /  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャッタースピードを変えてください。</li> <li>撮影モードMで撮影してください。</li> </ul>
Sモード時Time 制御不可	<b>- -</b> /  (点滅)	
—	 (点滅)	フラッシュがフル発光しました。撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り、フラッシュ調光範囲、ISO感度などをご確認ください。
—	  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュをお使いください。</li> <li>撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などを確認してください。</li> <li>レンズの焦点距離が18mmより広角になっています。焦点距離を18mm以上にしてください。</li> </ul>
何らかの異常を検出しました。 復旧にはシャッターボタンをもう一度押してください。	<b>Err</b> (点滅)	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。
起動エラーが発生しました。 サービス機関にお問い合わせください。	<b>Err</b> (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。
測光機能エラー	<b>Err</b> (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
ライブビューを開始できません。 カメラ内部の温度が下がるまでしばらくお待ちください。	—	カメラ内部の温度が下がるまで、ライブビュー撮影または動画撮影を一時休止してください。
撮影画像がありません。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 画像が記録されているSDカードを入れてください。</li> <li>• 再生メニューの<b>〔再生フォルダー設定〕</b>で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください。</li> </ul>
このファイルは表示できません。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。</li> <li>• 画像ファイルに異常があるため再生できません。</li> </ul>
このファイルは選択できません。	—	このカメラで撮影または編集した画像しか画像編集できません。
この動画は編集できません。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>• このカメラで撮影した動画しか編集できません。</li> <li>• 2秒未満の動画は編集できません。</li> </ul>
処理できる画像がありません。	—	<b>〔RAW現像〕</b> で画像編集できるのはRAW画像だけです。
複数の接続先を検出したため接続を中止しました。 しばらくしてから、接続をやり直してください。	—	スマートデバイスからの通信信号を受信中、複数の接続先を検出したため接続を中止しました。 しばらくしてから、接続をやり直してください。
エラーが発生しました。	—	セットアップメニュー <b>〔Wi-Fi〕</b> の <b>〔通信機能〕</b> を <b>〔無効〕</b> にしてから、もう一度 <b>〔有効〕</b> にしてください。

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
カメラの温度が下がるまで通信機能は使えません。	—	カメラの電源をOFFにして、カメラ内部の温度が下がるまでしばらく待ってから接続をやり直してください。

# 主な仕様

## ■ ニコンデジタルカメラD5500

### 型式

型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ
レンズマウント	ニコンFマウント (AF接点付)
実撮影画角	ニコンDXフォーマット、焦点距離が約1.5倍のレンズのFXフォーマットでの画角に相当

### 有効画素数

有効画素数	2416万画素
-------	---------

### 撮像素子

方式	23.5×15.6 mmサイズCMOSセンサー
総画素数	2478万画素
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得 (Capture NX-Dが必要)

### 記録形式

記録画素数	<ul style="list-style-type: none"><li>6000×4000ピクセル (サイズL)</li><li>4496×3000ピクセル (サイズM)</li><li>2992×2000ピクセル (サイズS)</li></ul>
画質モード	<ul style="list-style-type: none"><li>RAW12ビット/14ビット (圧縮)</li><li>JPEG-Baseline準拠、圧縮率 (約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16)</li><li>RAWとJPEGの同時記録可能</li></ul>
ピクチャーコントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、フラット、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード (SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応)
対応規格	DCF 2.0、DPOF、Exif 2.3、PictBridge

ファインダー	
ファインダー	アイレベル式ペンタミラー使用一眼レフレックス式ファインダー
視野率	上下左右とも約95% (対実画面)
倍率	約0.82倍 (50mm f/1.4レンズ使用、 $\infty$ 、 $-1.0\text{ m}^{-1}$ のとき)
アイポイント	接眼レンズ面中央から17mm ( $-1.0\text{ m}^{-1}$ のとき)
視度調節範囲	$-1.7\sim+0.5\text{m}^{-1}$
ファインダー スクリーン	B型クリアマットスクリーン VII
ミラー	クイックリターン式
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式

レンズ	
交換レンズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オートフォーカス可能レンズ: AF-S、AF-P、AF-Iレンズ</li> <li>• オートフォーカス不可レンズ: AF-S、AF-P、AF-I以外のGまたはDタイプレンズ、GまたはDタイプ以外のAFレンズ (IX用レンズ、F3AF用レンズは使用不可)、Pタイプレンズ、非CPUレンズ (撮影モード<b>M</b> (マニュアル) で使用可能、ただシカメラで測光は不可)</li> </ul> ※ 開放F値がF5.6以上明るいレンズでフォーカスイド可能

シャッター	
型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	1/4000~30秒 (1/3ステップ、1/2ステップに変更可能)、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッタースピード	X=1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調

レリーズ機能	
レリーズモード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• : 1コマ撮影、: 低速連続撮影、: 高速連続撮影、: 静音撮影、: セルフタイマー、: 2秒リモコン (ML-L3)、: 瞬時リモコン (ML-L3)</li> <li>• インターバルタイマー撮影可能</li> </ul>

## レリーズ機能

連続撮影速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● L：最高約3コマ/秒*</li> <li>● H：最高約5コマ/秒（JPEG画像撮影時または、12ビットのRAW画像撮影時）または最高約4コマ/秒（14ビットのRAW画像撮影時）*</li> </ul> <p>※ フォーカスモードがAF-Cで、カスタムメニュー a1 [AF-Cモード時の優先] が [レリーズ]、撮影モードがS（シャッター優先オート）またはM（マニュアル）、1/250秒以上の高速シャッタースピード、その他が初期設定時</p>
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20秒、撮影コマ数：1～9コマ

## 露出制御

測光方式	2016分割RGBセンサーによるTTL開放測光方式
測光モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>マルチパターン測光</b>：3D-RGB マルチパターン測光Ⅱ（G、E、またはDタイプレンズ使用時）、RGBマルチパターン測光Ⅱ（その他のCPUレンズ使用時）</li> <li>● <b>中央部重点測光</b>：φ8 mm相当を測光（中央部重点度約75%）</li> <li>● <b>スポット測光</b>：φ3.5 mm相当（全画面の約2.5%）を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動</li> </ul>
測光範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>マルチパターン測光、中央部重点測光</b>：0～20 EV</li> <li>● <b>スポット測光</b>：2～20 EV（ISO 100、f/1.4レンズ使用時、常温20℃）</li> </ul>
露出計連動	CPU連動方式
撮影モード	<p>AUTO：オート、Fn：発光禁止オート、<b>P</b>：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、<b>S</b>：シャッター優先オート、<b>A</b>：絞り優先オート、<b>M</b>：マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>シーンモード</b>：ポートレート、風景、こどもスナップ、スポーツ、クローズアップ、夜景ポートレート、夜景、パーティー、海・雪、夕焼け、トワイライト、ペット、キャンドルライト、桜、紅葉、料理</li> <li>● <b>スペシャルエフェクトモード</b>：ナイトビジョン、<b>VI</b>：極彩色、<b>POP</b>：ポップ、フォトイラスト、トイカメラ風、ミニチュア効果、セレクトカメラ、シルエット、ハイキー、ローキー</li> </ul>

## 露出制御

露出補正	P、S、A、M、SCENE、  モード時に設定可能、 範囲: ±5段、補正ステップ: 1/3、1/2ステップに変更可能
AEブラケティング	撮影コマ数: 3コマ、補正ステップ: 1/3、1/2ステップ
ホワイトバランス ブラケティング	撮影コマ数: 3コマ、補正ステップ: 1ステップ
アクティブ D-ライティング ブラケティング	撮影コマ数: 2コマ
AEロック	 (On) ボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度 (推奨露光指数)	ISO 100~25600 (1/3ステップ)、感度自動制御が可能
アクティブ D-ライティング	暗Aオート、暗H <sup>+</sup> より強め、暗H強め、暗N標準、 暗L弱め、OFFしない

## オートフォーカス

方式	TTL位相差検出方式: フォーカスポイント39点 (うち、クロスタイプセンサー9点)、マルチCAM 4800DXオートフォーカスセンサーモジュールで検出、AF補助光 (約0.5~3 m) 付
検出範囲	-1~+19 EV (ISO 100、常温 (20°C))
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートフォーカス (AF): シングルAFサーボ (AF-S)、コンティニュアスAFサーボ (AF-C)、AFサーボモード自動切り換え (AF-A) を選択可能、被写体条件により自動的に予測駆動フォーカスに移行</li> <li>マニュアルフォーカス (MF): フォーカスイド可能</li> </ul>
フォーカスポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>AF39点設定時: 39点のフォーカスポイントから1点を選択</li> <li>AF11点設定時: 11点のフォーカスポイントから1点を選択</li> </ul>
AFエリアモード	シングルポイントAF、ダイナミックAF (9点、21点、39点)、オートエリアAF、3D-トラッキング
フォーカスロック	 (On) ボタン、またはシングルAFサーボ (AF-S) 時にシャッターボタン半押し

## フラッシュ

内蔵フラッシュ	<p> 、、、、、、、、VI、POP、、時：オートポップアップ方式による自動発光  <b>P、S、A、M、</b>時：押しボタン操作による手動ポップアップ方式            ガイドナンバー：約12（マニュアルフル発光時約12）            （ISO 100・m、20℃）         </p>
調光方式	<p> <b>2016分割RGBセンサーによるTTL調光制御</b>：i-TTL-BL調光（マルチパターン測光または中央部重点測光）、スタンダードi-TTL調光（スポット測光）可能         </p>
フラッシュモード	<p>           通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート＋スローシャッター、赤目軽減オート＋スローシャッター、通常発光、赤目軽減発光、通常発光＋スローシャッター、赤目軽減発光＋スローシャッター、後幕発光＋スローシャッター、後幕発光、発光禁止         </p>
調光補正	<p> <b>P、S、A、M、SCENE</b>モード時に設定可能、            範囲：-3～+1段、補正ステップ：1/3、1/2ステップ         </p>
レディーライト	<p>           内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出警告時は点滅         </p>
アクセサリシュー	<p>           ホットシュー（ISO 518）装備：シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構（ロック穴）付         </p>
ニコンクリエイティブライティングシステム	<p>           SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-500を主灯、SU-800をコマンダーとしたアドバンストワイヤレスライティングに対応            ・ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで発光色温度情報伝達に対応         </p>
シンクローターミナル	<p>           ホットシューアダプター AS-15（別売）         </p>

## ホワイトバランス

ホワイトバランス	<p>           オート、電球、蛍光灯（7種）、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル。プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能         </p>
----------	--

## ライブビュー撮影機能

レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オートフォーカス (AF) : シングルAFサーボ (AF-S)、常時AFサーボ (AF-F)</li> <li>• マニュアルフォーカス (MF)</li> </ul>
AFエリアモード	顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、ターゲット追尾AF
フォーカス	コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能)
おまかせシーン (シーン自動判別)	撮影モード  、  で使用可能

## 動画機能

測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	マルチパターン測光
記録画素数/ フレームレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1920×1080 : 60p/50p/30p/25p/24p</li> <li>• 1280×720 : 60p/50p</li> <li>• 640×424 : 30p/25p</li> <li>※ 60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps</li> <li>※ 30p/60p は [ビデオ出力] が [NTSC] の場合に選択可能</li> <li>※ 25p/50p は [ビデオ出力] が [PAL] の場合に選択可能</li> <li>※ 標準/高画質選択可能</li> </ul>
ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	リニアPCM
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能(ステレオ録音)、マイク感度設定可能
感度	ISO 100~25600

## 液晶モニター

液晶モニター	3.2型 (3 : 2) TFT液晶モニター (タッチパネル)、約104万ドット (720 × 480 × 3 = 1,036,800)、パリアングル方式、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能、アイセンサーによる自動消灯可能
--------	--

再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生（4、12、80分割またはカレンダーモード）、拡大再生、動画再生、スライドショー（静止画/動画選択再生可能）、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング、画像コメント入力可能（英数字36文字まで）
インターフェース	
USB	Hi-Speed USB（標準装備されたUSBポートへの接続を推奨）
ビデオ出力	NTSC、PAL
HDMI出力	HDMI端子（Type C）装備
アクセサリ ターミナル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイヤレスリモートコントローラー WR-1、WR-R10（別売）</li> <li>リモートコード：MC-DC2（別売）</li> <li>GPSユニット：GP-1/GP-1A（別売）</li> </ul>
外部マイク入力	ステレオミニジャック（φ3.5mm）装備、ステレオマイクホンME-1（別売）使用可能
Wi-Fi（無線LAN）	
準拠規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g
伝送方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>IEEE802.11b：DSSS/CCK</li> <li>IEEE802.11g：OFDM</li> </ul>
周波数範囲 （中心周波数）	2412～2462 MHz（1～11ch）
通信距離（見通し）	約30 m※ ※ 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。
データ転送速度 （規格値）	54 Mbps※ ※ 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
セキュリティ	認証方式：オープンシステム、WPA2-PSK 暗号方式：AES
無線設定	WPS対応
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
表示言語	
表示言語	日本語、英語

電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14a(1個使用)
ACアダプター	ACアダプター EH-5b (パワーコネクター EP-5Aと組み合わせて使用) (別売)

三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)

寸法・質量	
寸法 (W×H×D)	約124×97×70 mm
質量	約470 g (バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディキャップを除く)
	約420 g (本体のみ)

動作環境	
温度	0℃～40℃
湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

## ■ バッテリーチャージャー MH-24

電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	18-24 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.9 A
適応電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a
充電時間	EN-EL14a充電時：約1時間50分 ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約70×26×97 mm
質量	約96 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、— DC（直流）、 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

## ■ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	7.2 V、1230 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約38×53×14 mm
質量	約49 g（端子カバーを除く）

## ■ レンズAF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR/ AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-P DXレンズ
焦点距離	18 mm-55 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	9群12枚（非球面レンズ2枚）
画角	76° - 28° 50'
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズームリング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	ステッピングモーターによるオートフォーカス、 マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正 (AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR のみ)	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離 <sup>※1</sup>	撮像面から0.25 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲 <sup>※2</sup>	• 焦点距離 18 mm 時 : f/3.5-22 • 焦点距離 55 mm 時 : f/5.6-38
測光方式	開放測光
アタッチメント サイズ	55 mm (P=0.75 mm)
寸法	約64.5 mm (最大径) × 62.5 mm (レンズマウント基準 面からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR : 約205 g AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G : 約195 g

※1 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

## ■ レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXレンズ
焦点距離	18 mm-55 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	8群11枚（非球面レンズ1枚）
画角	76°- 28° 50′
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離※1	<ul style="list-style-type: none"><li>• オートフォーカス時：撮像面から0.28 m（ズーム全域）</li><li>• マニュアルフォーカス時：撮像面から0.25 m（ズーム全域）</li></ul>
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲※2	<ul style="list-style-type: none"><li>• 焦点距離18 mm時：f/3.5-22</li><li>• 焦点距離55 mm時：f/5.6-38</li></ul>
測光方式	開放測光
アタッチメント サイズ	52 mm（P=0.75 mm）
寸法	約66 mm（最大径）×59.5 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約195 g

※1 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

# ■ レンズAF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VR

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXレンズ
焦点距離	18 mm-140 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	12群17枚 (EDレンズ1枚、非球面レンズ1枚)
画角	76°- 11° 30'
焦点距離目盛	18、24、35、50、70、140 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズームリング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	IF(ニコン内焦)方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離※1	撮像面から0.45 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲※2	• 焦点距離 18 mm時 : f/3.5-22 • 焦点距離 140 mm時 : f/5.6-38
測光方式	開放測光
アタッチメント サイズ	67 mm (P=0.75 mm)
寸法	約78 mm (最大径) × 97 mm (レンズマウント基準面 からレンズ先端まで)
質量	約490 g

※1 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

# ■ レンズAF-S DX NIKKOR 55–200mm f/4–5.6G ED VR II

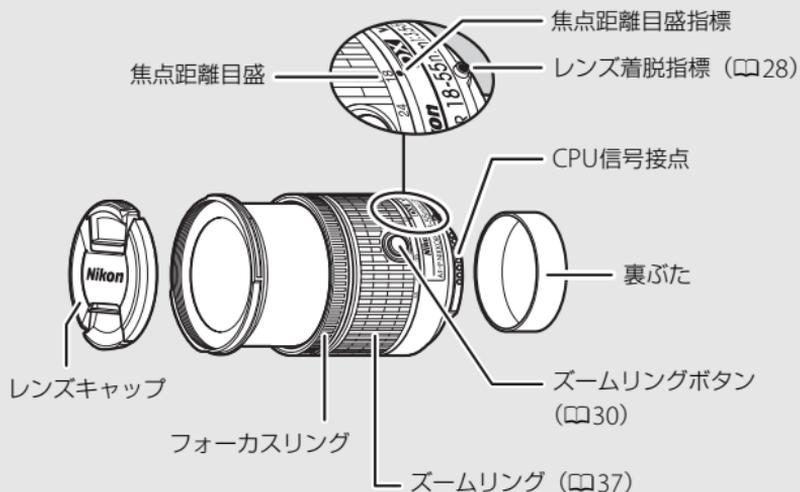
型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXレンズ
焦点距離	55 mm–200 mm
最大口径比	1 : 4–5.6
レンズ構成	9群13枚 (EDレンズ1枚)
画角	28° 50′ – 8°
焦点距離目盛	55、70、85、105、135、200 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	IF (ニコン内焦) 方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離※	撮像面から1.1 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離55 mm時 : f/4–22 • 焦点距離200 mm時 : f/5.6–32
測光方式	開放測光
アタッチメント サイズ	52 mm (P=0.75 mm)
寸法	約70.5 mm (最大径) × 83 mm (レンズマウント基準面 からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	約300 g

※ 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

- 製品の的外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

## AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR/AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6Gについて

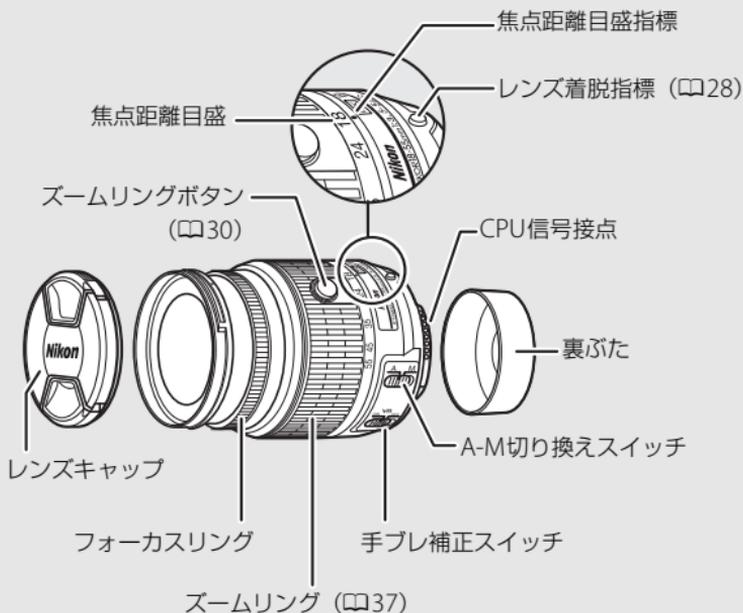
AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6Gの各部名称は次の通りです。



- AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6Gは沈胴機構を採用しています。

## ✎ AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIについて

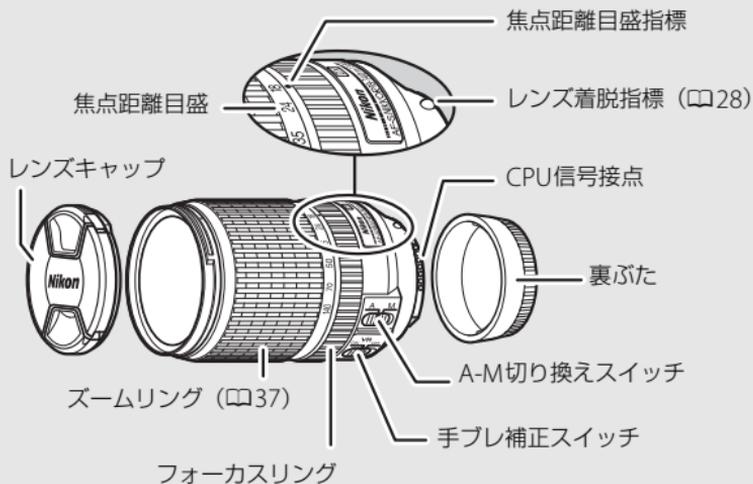
本書では、主にAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIのレンズを使用して説明しています。AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIの各部名称は次の通りです。



- AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIは沈胴機構を採用しています。

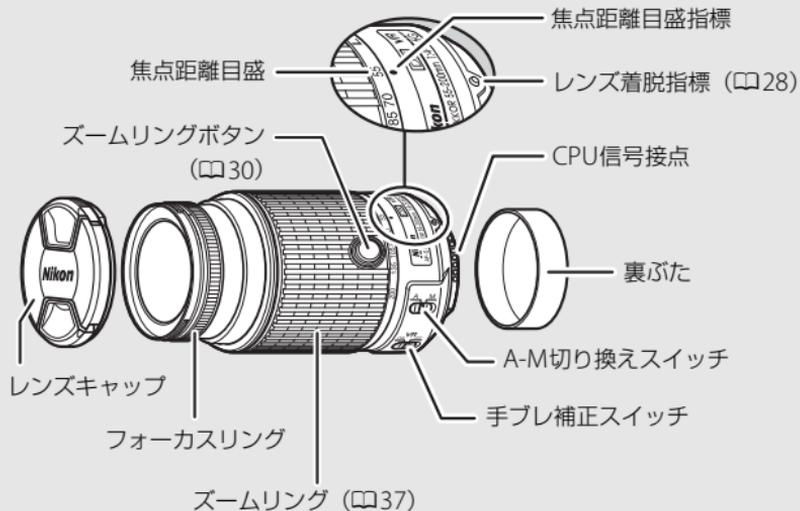
## AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRについて

AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRの各部名称は次の通りです。



## AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIについて

AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIの各部名称は次の通りです。



• AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIIは沈胴機構を採用しています。

## 商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLC.の商標または登録商標です。

## **HDMI**

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

## 認証マークの表示

セットアップメニューの「**認証マークの表示**」では、このカメラが取得している認証マークの一部を確認できます (□91)。

 認証

• Indonesia

36708/SDPPI/2014  
4588

36709/SDPPI/2014  
4593

الأردن •  
TRC/LPD/2013/141

عُمان •

OMAN-TRA

R/2185/14

D080093

• México

COFETEL: RCPMULB13-0954  
LBWA1U5YR1

• Paraguay

Número del Registro: 2014-01-I-00028

Este producto contiene un transmisor  
aprobado por la CONATEL.

الإمارات العربية المتحدة •

TRA

REGISTERED No:

ER0112542/13

DEALER No:

DA0073692/11

• Brasil



 FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

 MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

## 電池寿命について

充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (1230mAh) による電池寿命は、次の通りです。

- 撮影可能コマ数 (1コマ撮影モード) : 約820コマ (CIPA基準準拠※1)
- 撮影可能コマ数 (連続撮影モード) : 約3110コマ (当社試験条件※2)
- 動画撮影可能時間 : 約65分※3

※1 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォーカシング動作をさせて1コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。1回リリース (2回に1回は内蔵フラッシュをフル発光) した後、液晶モニターを点灯させてから消灯するまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II、温度23 (±2) °C。

※2 レリーズモード  H、フォーカスモードAF-C、画質モードBASIC、画像サイズM、ホワイトバランスAUTO、ISO 100、シャッタースピード1/250秒、シャッターボタンの半押しを3秒間持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動作させ6回連続リリースした後、液晶モニターを点灯させてから消灯するまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II (VR機能OFF)、温度20°C。

※3 電池寿命測定方法を定めたCIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による実撮影電池寿命です。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II、温度23 (±2) °C。カメラは初期設定状態。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分 (1080/60pまたは1080/50p) です。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

※ バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Wi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- GPSユニットを使用した場合
- ワイヤレスリモートコントローラーを使用した場合
- Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合
- AF-レンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、十分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

# ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

## ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日）

## ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー 28階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日）

## ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK名古屋放送センタービル 2階

営業時間：10:30～18:30（日曜日、祝日、年末年始を除く毎日）

## ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日）



ニコンプラザショールーム（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル

**0570-02-8080**



ニコンプラザサービスセンター（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル

**0570-02-8060**

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ・ ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03)6702-0577 におかけください。

### 補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後7年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合がありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

# 修理サービスのご案内

## ■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- 修理センターについては以下で、ニコンプラザサービスセンターについては、前ページでご案内しています。
- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください（内蔵メモリーがあるカメラでは、メモリー内のデータが消去される場合があります）。
- 補修用性能部品と修理可能期間については、前ページをご覧ください。

## ■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。
- ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。



修理センター ナビダイヤル

**0570-02-8200**

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、カスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

## ■ニコンピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

<インターネットでのお申込み>

**<http://www.nikon-image.com/support/repair/>**

「ニコンピックアップサービス」のお申し込み、見積もり金額やインターネットで申し込んだ修理の進捗状況や納期などの確認ができます。

<フリーダイヤルでのお申込み>



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

**0120-02-8155**

- 営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

## 製品の使い方に関するお問い合わせ

### ■ニコン カスタマーサポートセンター

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

**0570-02-8000**

- ・ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。
- ・ファクシミリは、(03)5977-7499 にお送りください。

### ■お問い合わせ時のお願い

- ・おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ソフトウェアのトラブルは、おわかりになる範囲で「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OS名およびバージョン」、「CPU名およびメモリー容量」、「セキュリティーソフトウェア名」、「問題発生時の操作手順と症状」、エラーメッセージが表示されていたらメッセージ内容などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ファクシミリや郵送でのお問い合わせは、「ご住所」、「お名前（フリガナ）」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

## ニコンイメージング（ウェブサイト）/サポートページ

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

※修理に関するお問い合わせは、前ページの「修理サービスのご案内」もご参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Thailand